

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第6437495号
(P6437495)

(45) 発行日 平成30年12月12日(2018.12.12)

(24) 登録日 平成30年11月22日(2018.11.22)

(51) Int.Cl.		F I			
B 4 2 F	7/06	(2006.01)	B 4 2 F	7/06	
B 4 2 D	3/18	(2006.01)	B 4 2 D	3/18	H
			B 4 2 D	3/18	L

請求項の数 17 (全 31 頁)

(21) 出願番号 特願2016-173066 (P2016-173066)
 (22) 出願日 平成28年9月5日(2016.9.5)
 (65) 公開番号 特開2018-39131 (P2018-39131A)
 (43) 公開日 平成30年3月15日(2018.3.15)
 審査請求日 平成29年9月6日(2017.9.6)

(73) 特許権者 595085468
 佐藤 泰洋
 神奈川県横浜市南区永田北3-25-32
 (74) 代理人 100108486
 弁理士 須磨 光夫
 (72) 発明者 佐藤 泰洋
 神奈川県横浜市南区永田北3-25-32
 審査官 宮本 昭彦

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 カードケース及びブックカバー並びにそれらの作成方法及び作成用シート状材料

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

シート状材料を折って作成されるカードケースであって、

前記シート状材料の下部を、1本又は互いに平行な2本以上のポケット底部谷折り線に沿って谷折りし、前記ポケット底部谷折り線が2本以上設定されている場合には、前記谷折りに加えて、前記ポケット底部谷折り線と平行で、隣接する2本のポケット底部谷折り線の間にそれぞれ1本設定されているポケット頂部山折り線に沿って山折りすることによって形成された1又は2以上のポケットと、

1又は2以上の前記ポケットが形成された状態で、前記シート状材料の左右いずれか一方の側端部が、前記ポケットの側端部を含めて、前記ポケット底部谷折り線と直交する第1側部山折り線に沿って山折りされ反対側に折り返された側部折り返し部を備え、

1又は2以上の前記ポケットと前記側部折り返し部を備えた状態で、前記ポケット底部谷折り線に平行な中央横山折り線に沿って、前記シート状材料の上部が山折りされて反対側に折り返されるとともに、反対側に折り返された前記シート状材料の先端部であって、前記シート状材料の下端部よりも下方に飛び出した部分が、前記中央横山折り線と平行な上部山折り線に沿ってさらに山折りされ、その山折りされた先端部に位置する前記側部折り返し部が、前記シート状材料の下部に位置する前記側部折り返し部と係合する位置に差し込まれて、前記シート状材料の左右何れか一方の側端部に前記側部折り返し部で囲まれた袋状部が形成されており、

さらに、前記袋状部を形成した状態で、前記第1側部山折り線に平行な中央縦山折り線

に沿って、前記シート状材料の前記袋状部とは反対側の部分が山折りされて反対側に折り返されるとともに、反対側に折り返された前記シート状材料の側端部であって、前記袋状部よりも側方に飛び出した部分が、前記中央縦山折り線に平行な第2側部山折り線に沿ってさらに山折りされて前記袋状部に挿入されており、

さらに、前記シート状材料の前記第2側部山折り線に沿って山折りされた側端部が前記袋状部に挿入されている状態で、前記シート状材料が、前記中央横山折り線と平行な蓋谷折り線又は蓋山折り線に沿って谷折り又は山折りされて1又は2以上の前記ポケットを覆う蓋部が形成されているカードケース。

【請求項2】

前記シート状材料の下辺に最も近い位置にある前記ポケット底部谷折り線よりもさらに前記シート状材料の下辺に近い位置に、前記ポケット底部谷折り線と平行なポケット頂部山折り線が設定されており、前記シート状材料の下端部が前記ポケット頂部山折り線に沿って山折りされている請求項1記載のカードケース。

10

【請求項3】

前記ポケットを2つ以上有し、前記ポケットが形成された状態で、前後に隣接する2つのポケット間で、手前側に位置するポケットのポケット頂部山折り線又は前記シート状材料の下辺から当該ポケットのポケット底部谷折り線までの距離が、当該ポケットの前記ポケット底部谷折り線から奥側に位置するポケットのポケット頂部山折り線までの距離よりも短く設定されている請求項1又は2記載のカードケース。

【請求項4】

20

さらに、前記袋状部を形成した状態で、前記中央縦山折り線よりも前記袋状部側に位置し、前記中央縦山折り線に平行な第1マチ部山折り線に沿った山折りと、前記中央縦山折り線と前記第1マチ部山折り線との間に位置し、前記中央縦山折り線に平行な第1マチ部谷折り線に沿った谷折りと、前記中央縦山折り線に沿った山折りによって形成される第1マチ部と、前記第2側部山折り線よりも前記中央縦山折り線側に位置し、前記第2側部山折り線に平行な第2マチ部山折り線に沿った山折りと、前記第2側部山折り線と前記第2マチ部山折り線との間に位置し、前記第2側部山折り線に平行な第2マチ部谷折り線に沿った谷折りと、前記第2側部山折り線に沿った山折りによって形成される第2マチ部とを備え、前記第1マチ部及び前記第2マチ部が形成された状態で、前記シート状材料の側端部であって、前記袋状部よりも側方に飛び出した部分が前記袋状部に挿入されている請求項1～3のいずれかに記載のカードケース。

30

【請求項5】

1本又は2本以上の前記ポケット底部谷折り線、前記ポケット底部谷折り線が2本以上存在するときには少なくとも1本の前記ポケット頂部山折り線、前記第1側部山折り線、前記中央横山折り線、前記上部山折り線、前記中央縦山折り線、前記第2側部山折り線、及び前記蓋谷折り線又は前記蓋山折り線が、四角形の内側の所定位置に記載されている請求項1記載のカードケース作成用シート状材料。

【請求項6】

シート状材料を折ることによってカードケースを作成する方法であって、下記工程(A)～(G)を含むカードケースの作成方法；

40

(A) 前記シート状材料の下部を、1本又は互いに平行な2本以上のポケット底部谷折り線に沿って谷折りし、前記ポケット底部谷折り線が2本以上設定されている場合には、前記谷折りに加えて、前記ポケット底部谷折り線と平行で、隣接する2本のポケット底部谷折り線の間にそれぞれ1本設定されているポケット頂部山折り線に沿って山折りすることによって、1又は2以上のポケットを形成する工程、

(B) 1又は2以上の前記ポケットが形成された状態で、前記シート状材料の左右いずれか一方の側端部を、前記ポケットの側端部を含めて、前記ポケット底部谷折り線と直交する第1側部山折り線に沿って山折りし、反対側に折り返して側部折り返し部を形成する工程、

(C) 1又は2以上の前記ポケットと前記側部折り返し部を形成した状態で、前記ポケッ

50

ト底部谷折り線に平行な中央横山折り線に沿って、前記シート状材料の上部を山折りし反対側に折り返す工程であって、前記中央横山折り線が、前記中央横山折り線に沿って前記シート状材料の上部を山折りして反対側に折り返したとき、前記シート状材料の先端部が前記シート状材料の下端部よりも下方に飛び出す位置に設定されている工程、

(D) 反対側に折り返された前記シート状材料の先端部であって、前記シート状材料の下端部よりも下方に飛び出した部分を、前記中央横山折り線と平行な上部山折り線に沿ってさらに山折りし、その山折りした先端部に位置する前記側部折り返し部を、前記シート状材料の下部に位置する前記側部折り返し部と係合する位置に差し込み、前記シート状材料の左右何れか一方の側端部に前記側部折り返し部で囲まれた袋状部を形成する工程、

(E) さらに、前記袋状部が形成された状態で、前記第1側部山折り線に平行な中央縦山折り線に沿って、前記シート状材料の前記袋状部とは反対側の部分を山折りして反対側に折り返す工程であって、前記中央縦山折り線が、前記中央縦山折り線に沿って前記シート状材料の前記袋状部とは反対側の部分を山折りして反対側に折り返したとき、反対側に折り返された前記シート状材料の側端部が前記袋状部より側方に飛び出す位置に設定されている工程、

(F) 反対側に折り返された前記シート状材料の側端部であって、前記袋状部よりも側方に飛び出した部分を、前記中央縦山折り線に平行な第2側部山折り線に沿ってさらに山折りして前記袋状部に挿入する工程、

(G) 前記シート状材料の前記第2側部山折り線に沿って山折りされた側端部が前記袋状部に挿入されている状態で、前記シート状材料を、前記中央横山折り線と平行な蓋谷折り線又は蓋山折り線に沿って谷折り又は山折りし、1又は2以上の前記ポケットを覆う蓋部を形成する工程。

【請求項7】

さらに、下記工程(H)を含む請求項6記載のカードケースの作成方法；

(H) 前記シート状材料の下辺に最も近い位置にある前記ポケット底部谷折り線よりもさらに前記シート状材料の下辺に近い位置に、前記ポケット底部谷折り線と平行なポケット頂部山折り線を設定し、前記シート状材料の下端部を前記ポケット頂部山折り線に沿って山折りする工程。

【請求項8】

前記(A)の工程において、前記ポケット底部谷折り線が2本以上設定されるとともに、隣接する2本のポケット底部谷折り線の間には、前記ポケット底部谷折り線と平行なポケット頂部山折り線がそれぞれ1本ずつ設定されており、前記ポケットが形成されたときに前後に隣接する2つのポケット間で、手前側に位置するポケットの前記ポケット頂部山折り線又は前記シート状材料の下辺から当該ポケットのポケット底部谷折り線までの距離が、当該ポケットの前記ポケット底部谷折り線から奥側に位置するポケットのポケット頂部山折り線までの距離よりも短くなるように、前記ポケット底部谷折り線及び前記ポケット頂部山折り線の位置が設定されている請求項6又は7記載のカードケースの作成方法。

【請求項9】

さらに、前記工程(D)と(E)の間に、下記工程(I)及び(J)を含む請求項6～8のいずれかに記載のカードケースの作成方法；

(I) 前記袋状部が形成された状態で、前記中央縦山折り線よりも前記袋状部側に位置し、前記中央縦山折り線に平行な第1マチ部山折り線と、前記中央縦山折り線と前記第1マチ部山折り線との間に位置し、前記中央縦山折り線に平行な第1マチ部谷折り線とに沿って、それぞれ、山折り及び谷折りする工程、

(J) 前記袋状部が形成された状態で、前記第2側部山折り線よりも前記中央縦山折り線側に位置し、前記第2側部山折り線に平行な第2マチ部山折り線と、前記第2側部山折り線と前記第2マチ部山折り線との間に位置し、前記第2側部山折り線に平行な第2マチ部谷折り線とに沿って、それぞれ、山折り及び谷折りする工程。

【請求項10】

シート状材料を折って作成されるブックカバーであって、

10

20

30

40

50

前記シート状材料の下部を、ポケット底部谷折り線に沿って谷折りすることによって形成されたポケットと、

前記ポケットが形成された状態で、前記シート状材料の左右いずれか一方の側端部が、前記ポケットの側端部を含めて、前記ポケット底部谷折り線と直交する第1側部山折り線に沿って山折りされ反対側に折り返された側部折り返し部を備え、

前記ポケットと前記側部折り返し部を備えた状態で、前記シート状材料の上部が、前記ポケット底部谷折り線に平行な中央横山折り線に沿って山折りされて反対側に折り返されるとともに、反対側に折り返された前記シート状材料の先端部であって、前記シート状材料の下端部よりも下方に飛び出した部分が、前記中央横山折り線と平行な上部山折り線に沿ってさらに山折りされ、その山折りされた先端部に位置する前記側部折り返し部が、前記シート状材料の下部に位置する前記側部折り返し部と係合する位置に差し込まれて、前記シート状材料の左右何れか一方の側端部に前記側部折り返し部で囲まれた袋状部が形成されており、

10

さらに、前記袋状部を形成した状態で、前記第1側部山折り線に平行な中央縦山折り線に沿って、前記シート状材料の前記袋状部とは反対側の部分が山折りされて反対側に折り返されるとともに、反対側に折り返された前記シート状材料の側端部であって、前記袋状部よりも側方に飛び出した部分が、前記中央縦山折り線に平行な第2側部山折り線に沿ってさらに山折りされて前記袋状部に挿入されており、

前記ポケットに本の表表紙又は裏表紙の先端部を挿入して使用されるブックカバー。

【請求項11】

20

前記ポケット底部谷折り線よりもさらに前記シート状材料の下辺に近い位置に、前記ポケット底部谷折り線と平行なポケット頂部山折り線が設定されており、前記シート状材料の下端部が前記ポケット頂部山折り線に沿って山折りされている請求項10記載のブックカバー。

【請求項12】

さらに、前記ポケット底部谷折り線からカバーすることが想定される本の表表紙、背表紙、裏表紙の横方向長さを加算した長さだけ離れた位置にあり、前記ポケット底部谷折り線と平行な第2ポケット底部谷折り線に沿った谷折りと、前記第2ポケット底部谷折り線に平行で、前記第2ポケット底部谷折り線を挟んで前記ポケット底部谷折り線と反対側に位置する第2ポケット頂部山折り線に沿った山折りとによって形成される第2ポケットを有し、

30

前記側部折り返し部が、前記ポケット及び前記第2ポケットが形成された状態で、前記シート状材料の左右いずれか一方の側端部が、前記ポケット及び前記第2ポケットの側端部を含めて、前記ポケット底部谷折り線と直交する第1側部山折り線に沿って山折りされ反対側に折り返された側部折り返し部であり、

前記中央横山折り線が、前記ポケット及び前記第2ポケットが形成された状態で、前記第2ポケット底部谷折り線よりも前記シート状材料の上辺に近い位置にあり、

前記ポケット及び前記第2ポケットに本の表表紙又は裏表紙の先端部をそれぞれ挿入して使用される請求項10又は11記載のブックカバー。

【請求項13】

40

前記ポケット底部谷折り線、前記第1側部山折り線、前記中央横山折り線、前記上部山折り線、前記中央縦山折り線、及び前記第2側部山折り線が、四角形の内側の所定位置に記載されている請求項10記載のブックカバー作成用シート状材料。

【請求項14】

前記ポケット底部谷折り線、前記第2ポケット底部谷折り線、前記第2ポケット頂部山折り線、前記第1側部山折り線、前記中央横山折り線、前記上部山折り線、前記中央縦山折り線、及び前記第2側部山折り線が、四角形の内側の所定位置に記載されている請求項12記載のブックカバー作成用シート状材料。

【請求項15】

シート状材料を折ることによってブックカバーを作成する方法であって、下記工程(a

50

）～（f）を含むブックカバーの作成方法；

（a）前記シート状材料の下部を、ポケット底部谷折り線に沿って谷折りすることによってポケットを形成する工程、

（b）前記ポケットが形成された状態で、前記シート状材料の左右いずれか一方の側端部を、前記ポケットの側端部を含めて、前記ポケット底部谷折り線と直交する第1側部山折り線に沿って山折りし、反対側に折り返して側部折り返し部を形成する工程、

（c）前記ポケットと前記側部折り返し部を形成した状態で、前記ポケット底部谷折り線に平行な中央横山折り線に沿って、前記シート状材料の上部を山折りし反対側に折り返す工程であって、前記中央横山折り線が、前記中央横山折り線に沿って前記シート状材料の上部を山折りして反対側に折り返したとき、前記シート状材料の先端部が前記シート状材料の下端部よりも下方に飛び出す位置に設定されている工程、

10

（d）反対側に折り返された前記シート状材料の先端部であって、前記シート状材料の下端部よりも下方に飛び出した部分を、前記中央横山折り線と平行な上部山折り線に沿ってさらに山折りし、その山折りした先端部に位置する前記側部折り返し部を、前記シート状材料の下部に位置する前記側部折り返し部と係合する位置に差し込み、前記シート状材料の左右何れか一方の側端部に前記側部折り返し部で囲まれた袋状部を形成する工程、

（e）さらに、前記袋状部が形成された状態で、前記第1側部山折り線に平行な中央縦山折り線に沿って、前記シート状材料の前記袋状部とは反対側の部分を山折りして反対側に折り返す工程であって、前記中央縦山折り線が、前記中央縦山折り線に沿って前記シート状材料の前記袋状部とは反対側の部分を山折りして反対側に折り返したとき、反対側に折り返された前記シート状材料の側端部が前記袋状部より側方に飛び出す位置に設定されている工程、

20

（f）反対側に折り返された前記シート状材料の側端部であって、前記袋状部よりも側方に飛び出した部分を、前記中央縦山折り線に平行な第2側部山折り線に沿ってさらに山折りして前記袋状部に挿入する工程。

【請求項16】

さらに、下記工程（g）を含む請求項15記載のブックカバーの作成方法；

（g）前記ポケット底部谷折り線よりもさらに前記シート状材料の下辺に近い位置に、前記ポケット底部谷折り線と平行なポケット頂部山折り線を設定し、前記シート状材料の下端部を前記ポケット頂部山折り線に沿って山折りする工程。

30

【請求項17】

さらに、前記工程（a）と前記工程（b）との間に、

（h）前記シート状材料を、前記ポケット底部谷折り線からカバーすることが想定される本の表表紙、背表紙、裏表紙の横方向長さを加算した長さだけ離れた位置にあり、前記ポケット底部谷折り線と平行な第2ポケット底部谷折り線に沿って谷折りするとともに、前記第2ポケット底部谷折り線に平行で、前記第2ポケット底部谷折り線を挟んで前記ポケット底部谷折り線と反対側に位置する第2ポケット頂部山折り線に沿って山折りとによって第2ポケットを形成する工程、

を有し、

前記工程（b）において形成される前記側部折り返し部が、前記ポケット及び前記第2ポケットが形成された状態で、前記シート状材料の左右いずれか一方の側端部が、前記ポケット及び前記第2ポケットの側端部を含めて、前記ポケット底部谷折り線と直交する第1側部山折り線に沿って山折りされ反対側に折り返された側部折り返し部であり、

40

前記工程（c）における前記中央横山折り線が、前記ポケット及び前記第2ポケットと前記側部折り返し部を備えた状態で、前記第2ポケット底部谷折り線よりも前記シート状材料の上辺に近い位置にある中央横山折り線である、

請求項15又は16記載のブックカバーの作成方法。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

50

本発明は、一枚のシート状材料を折ることによって作成されるカードケース及びブックカバーと、それらの作成方法、さらには、それらの作成に用いる作成用シート状材料に関するものである。

【背景技術】

【0002】

例えば、クレジットカードや銀行カード、セキュリティカード、電子マネーカード、各種店舗が発行する会員カード、医療機関が発行する診察カード等、我々の日常は実に多種多様のカードに囲まれており、カードなしでは日常生活が営めない状況にあるといっても過言ではない。これらのカードは必要時に手元にないと持っている意味がないので、これらのカードをコンパクトに収納でき、かつ持ち運び可能なカードケースは現代人にとって

10

【0003】

カードケースは、見た目の高級感、耐久性、さらには手触りの良さなどから、通常、天然又は人工の皮革で作成される場合が多い。しかしながら、皮革は取り扱いが簡単でない上に、皮革を用いてカードケースを作成するには、予め所定の形状、大きさに裁断した皮革を用意し、これを縫い合わせたり、接着剤で接着したりする作業が必要となり、作成には熟練を要する。また、素材としての皮革は、高級感を与え、耐久性がある点で好ましいものであるが、これに模様を付したりするのが困難であり、装飾性に劣るという物足りなさがある。

【0004】

20

この点に鑑み、最近では、合成樹脂や布などを用いてカードケースを作成することも種々提案されている。合成樹脂や布は、皮革よりは扱いが簡単である上に、それ自体、様々な色彩や模様、風合いを備えたものを比較的容易に入手することができるという利点があり、更にはプリント、刺繍、縫い付けなどの手法で、好みの装飾を施すことも比較的容易であるので、量産品でない個人の好みに合った独自のカードケースを作成することができるという点では重宝な素材である。しかしながら、合成樹脂や布を用いる場合であっても、カードケースを作成するに当たっては、所定の大きさや形に合わせて合成樹脂や布を予め裁断したり、裁断したものを縫い合わせたり、接着したりする作業が必要となり、手間が掛かるという点では、基本的に皮革を用いる場合と変わりはない。

【0005】

30

上記以外の素材を用いたカードケースとしては、例えば、特許文献1に示されるようなプラスチック製シートを折り畳んで作成されるカードケースや、特許文献2に示されるような一枚のシートに特定の形状のスリットを入れたものなどが提案されている。しかしながら、これらは、いずれも、予め特殊な形状に加工されたプラスチック製シートなどを必要とする点で、誰でもが独自に容易に作成することができるというものではない。

【0006】

一方、ブックカバーは、カードケースほど構造が複雑ではなく、しかも、カードケースほどの耐久性や見栄えの高級感は求められないことが多いので、従来から、皮革や布以外にも、例えば紙などの身近にある材料を用いて比較的簡単に作成されている。しかし、本の表紙又は裏表紙を差し込むポケット部を持たず、単に、長形状のシート状材料の左右の両端をカバーする本の見開き幅に合わせて折り曲げただけのブックカバーは、カバーしている本から剥がれやすいといふ欠点を有している。本の表紙又は裏表紙を差し込むポケット部を設けるには、例えば、特許文献3に示されるように、皮革や厚紙、プラスチックなどのシート状の素材を接着や縫い合わせによって接合することが必要であり、また、特許文献4に示されるように一枚のシートを折って作成されるブックカバーであっても、本の表紙を差し込むポケット部を持ったブックカバーを作成しようとすると、極めて複雑な折り方が要求される。

40

【先行技術文献】

【特許文献】

【0007】

50

【特許文献1】実開平7 - 18629号公報
【特許文献2】特開2015 - 112748号公報
【特許文献3】特開2010 - 162855号公報
【特許文献4】特開2002 - 178665号公報
【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0008】

本発明は、上記従来技術の欠点を解消するために為されたもので、誰もが身近にある材料で容易に作成することができ、かつ、装飾性に優れたカードケース及びブックカバーと、それらの作成方法、さらには、それらの作成に用いる作成用シート状材料を提供することを課題とする。

10

【課題を解決するための手段】

【0009】

上記課題を解決すべく鋭意試行錯誤を繰り返した結果、本発明者は、一枚のシート状材料の下部を谷折り山折りすることによって1又は複数のポケットを形成することができること、そして、それらポケットを形成した状態で、シート状材料の側端部を反対側に折り返し、さらに、シート状材料の上半分を反対側に折り返すとともに、その先端部を前記折り返し部に差し込んで袋状部を形成し、次に、シート状材料の左右どちらかの半分を反対側に折り返して、その先端部を前記袋状部に差し込むことによって、1枚のシート状材料から、比較的容易に、1又は複数のポケットを備えたカードケースを作成できることを見出した。

20

【0010】

また、本発明者は、上記のようにして形成されるポケットは、本の表又は裏表紙を差し込むポケットとしても利用でき、谷折り山折りによって作成されるポケットの数を1つにとどめることによって、上記とほぼ同様の手順で、1枚のシート状材料からブックカバーを作成できることを見出した。

【0011】

すなわち、本発明は、シート状材料を折って作成されるカードケースであって、

前記シート状材料の下部を、1本又は互いに平行な2本以上のポケット底部谷折り線に沿って谷折りし、前記ポケット底部谷折り線が2本以上設定されている場合には、前記谷折りに加えて、前記ポケット底部谷折り線と平行で、隣接する2本のポケット底部谷折り線の間にそれぞれ1本設定されているポケット頂部山折り線に沿って山折りすることによって形成された1又は2以上のポケットと、

30

1又は2以上の前記ポケットが形成された状態で、前記シート状材料の左右いずれか一方の側端部が、前記ポケットの側端部を含めて、前記ポケット底部谷折り線と直交する第1側部山折り線に沿って山折りされ反対側に折り返された側部折り返し部を備え、

1又は2以上の前記ポケットと前記側部折り返し部を備えた状態で、前記ポケット底部谷折り線に平行な中央横山折り線に沿って、前記シート状材料の上部が山折りされて反対側に折り返されるとともに、反対側に折り返された前記シート状材料の先端部であって、前記シート状材料の下端部よりも下方に飛び出した部分が、前記中央横山折り線と平行な上部山折り線に沿ってさらに山折りされ、その山折りされた先端部に位置する前記側部折り返し部が、前記シート状材料の下部に位置する前記側部折り返し部と係合する位置に差し込まれて、前記シート状材料の左右何れか一方の側端部に前記側部折り返し部で囲まれた袋状部が形成されており、

40

さらに、前記袋状部を形成した状態で、前記第1側部山折り線に平行な中央縦山折り線に沿って、前記シート状材料の前記袋状部とは反対側の部分が山折りされて反対側に折り返されるとともに、反対側に折り返された前記シート状材料の側端部であって、前記袋状部よりも側方に飛び出した部分が、前記中央縦山折り線に平行な第2側部山折り線に沿ってさらに山折りされて前記袋状部に挿入されており、

さらに、前記シート状材料の前記第2側部山折り線に沿って山折りされた側端部が前記

50

袋状部に挿入されている状態で、前記シート状材料が、前記中央横山折り線と平行な蓋谷折り線又は蓋山折り線に沿って谷折り又は山折りされて1又は2以上の前記ポケットを覆う蓋部が形成されているカードケースを提供することによって上記課題を解決するものである。

【0012】

また、本発明は、シート状材料を折って作成されるブックカバーであって、

前記シート状材料の下部をポケット底部谷折り線に沿って谷折りすることによって形成されたポケットと、

前記ポケットが形成された状態で、前記シート状材料の左右いずれか一方の側端部が、前記ポケットの側端部を含めて、前記ポケット底部谷折り線と直交する第1側部山折り線に沿って山折りされ反対側に折り返された側部折り返し部を備え、

前記ポケットと前記側部折り返し部を備えた状態で、前記シート状材料の上部が、前記ポケット底部谷折り線に平行な中央横山折り線に沿って山折りされて反対側に折り返されるとともに、反対側に折り返された前記シート状材料の先端部であって、前記シート状材料の下端部よりも下方に飛び出した部分が、前記中央横山折り線と平行な上部山折り線に沿ってさらに山折りされ、その山折りされた先端部に位置する前記側部折り返し部が、前記シート状材料の下部に位置する前記側部折り返し部と係合する位置に差し込まれて、前記シート状材料の左右何れか一方の側端部に前記側部折り返し部で囲まれた袋状部が形成されており、

さらに、前記袋状部を形成した状態で、前記第1側部山折り線に平行な中央縦山折り線に沿って、前記シート状材料の前記袋状部とは反対側の部分が山折りされて反対側に折り返されるとともに、反対側に折り返された前記シート状材料の側端部であって、前記袋状部よりも側方に飛び出した部分が、前記中央縦山折り線に平行な第2側部山折り線に沿ってさらに山折りされて前記袋状部に挿入されており、

前記ポケットに本の表表紙又は裏表紙の先端部を挿入して使用されるブックカバーを提供することによって上記課題を解決するものである。

【0013】

さらに、本発明は、上記カードケース又はブックカバーを作成するに必要な各種山折り線及び谷折り線をシート状材料の四角形内の所定位置に記載したカードケース作成用シート状材料又はブックカバー作成用シート状材料を提供することによって上記課題を解決するものである。カードケース作成用シート状材料又はブックカバー作成用シート状材料は、それ自体が四角形で、その内部の所定位置に必要な山折り線及び谷折り線が記載されたものであっても良いし、任意の形状のシート状材料の内部に四角形の区画が設定されており、その四角形の区画内の所定位置に必要な山折り線及び谷折り線が記載されたものであっても良い。後者の場合、カードケース又はブックカバーの作成にあたっては、前記任意の形状のシート状材料から前記山折り線及び谷折り線が記載された四角形部分を切り出すか、前記任意の形状のシート状材料の不要部分を折って前記山折り線及び谷折り線が記載された四角形のシート状材料とするか、或いは、四角形からはみだした部分をそのままに所定の山折り谷折りをしてカードケース又はブックカバーを作成すれば良い。

【0014】

加えて、本発明は、シート状材料を折ることによってカードケースを作成する方法であって、下記工程(A)～(G)を含むカードケースの作成方法を提供することによって上記課題を解決するものである；

(A) 前記シート状材料の下部を、1本又は互いに平行な2本以上のポケット底部谷折り線に沿って谷折りし、前記ポケット底部谷折り線が2本以上設定されている場合には、前記谷折りに加えて、前記ポケット底部谷折り線と平行で、隣接する2本のポケット底部谷折り線の間にそれぞれ1本設定されているポケット頂部山折り線に沿って山折りすることによって、1又は2以上のポケットを形成する工程、

(B) 1又は2以上の前記ポケットが形成された状態で、前記シート状材料の左右いずれか一方の側端部を、前記ポケットの側端部を含めて、前記ポケット底部谷折り線と直交す

る第1側部山折り線に沿って山折りし、反対側に折り返して側部折り返し部を形成する工程、

(C) 1又は2以上の前記ポケットと前記側部折り返し部を形成した状態で、前記ポケット底部谷折り線に平行な中央横山折り線に沿って、前記シート状材料の上部を山折りし反対側に折り返す工程であって、前記中央横山折り線が、前記中央横山折り線に沿って前記シート状材料の上部を山折りして反対側に折り返したとき、前記シート状材料の先端部が前記シート状材料の下端部よりも下方に飛び出す位置に設定されている工程、

(D) 反対側に折り返された前記シート状材料の先端部であって、前記シート状材料の下端部よりも下方に飛び出した部分を、前記中央横山折り線と平行な上部山折り線に沿ってさらに山折りし、その山折りした先端部に位置する前記側部折り返し部を、前記シート状材料の下部に位置する前記側部折り返し部と係合する位置に差し込み、前記シート状材料の左右何れか一方の側端部に前記側部折り返し部で囲まれた袋状部を形成する工程、

(E) さらに、前記袋状部が形成された状態で、前記第1側部山折り線に平行な中央縦山折り線に沿って、前記シート状材料の前記袋状部とは反対側の部分を山折りして反対側に折り返す工程であって、前記中央縦山折り線が、前記中央縦山折り線に沿って前記シート状材料の前記袋状部とは反対側の部分を山折りして反対側に折り返したとき、反対側に折り返された前記シート状材料の側端部が前記袋状部より側方に飛び出す位置に設定されている工程、

(F) 反対側に折り返された前記シート状材料の側端部であって、前記袋状部よりも側方に飛び出した部分を、前記中央縦山折り線に平行な第2側部山折り線に沿ってさらに山折りして前記袋状部に挿入する工程、

(G) 前記シート状材料の前記第2側部山折り線に沿って山折りされた側端部が前記袋状部に挿入されている状態で、前記シート状材料を、前記中央横山折り線と平行な蓋谷折り線又は蓋山折り線に沿って谷折り又は山折りし、1又は2以上の前記ポケットを覆う蓋部を形成する工程。

【0015】

さらに、本発明は、シート状材料を折ることによってブックカバーを作成する方法であって、下記工程(a)～(f)を含むブックカバーの作成方法を提供することによって上記課題を解決するものである；

(a) 前記シート状材料の下部をポケット底部谷折り線に沿って谷折りすることによってポケットを形成する工程、

(b) 前記ポケットが形成された状態で、前記シート状材料の左右いずれか一方の側端部を、前記ポケットの側端部を含めて、前記ポケット底部谷折り線と直交する第1側部山折り線に沿って山折りし、反対側に折り返して側部折り返し部を形成する工程、

(c) 前記ポケットと前記側部折り返し部を形成した状態で、前記ポケット底部谷折り線に平行な中央横山折り線に沿って、前記シート状材料の上部を山折りし反対側に折り返す工程であって、前記中央横山折り線が、前記中央横山折り線に沿って前記シート状材料の上部を山折りして反対側に折り返したとき、前記シート状材料の先端部が前記シート状材料の下端部よりも下方に飛び出す位置に設定されている工程、

(d) 反対側に折り返された前記シート状材料の先端部であって、前記シート状材料の下端部よりも下方に飛び出した部分を、前記中央横山折り線と平行な上部山折り線に沿ってさらに山折りし、その山折りした先端部に位置する前記側部折り返し部を、前記シート状材料の下部に位置する前記側部折り返し部と係合する位置に差し込み、前記シート状材料の左右何れか一方の側端部に前記側部折り返し部で囲まれた袋状部を形成する工程、

(e) さらに、前記袋状部が形成された状態で、前記第1側部山折り線に平行な中央縦山折り線に沿って、前記シート状材料の前記袋状部とは反対側の部分を山折りして反対側に折り返す工程であって、前記中央縦山折り線が、前記中央縦山折り線に沿って前記シート状材料の前記袋状部とは反対側の部分を山折りして反対側に折り返したとき、反対側に折り返された前記シート状材料の側端部が前記袋状部より側方に飛び出す位置に設定されている工程、

10

20

30

40

50

(f) 反対側に折り返された前記シート状材料の側端部であって、前記袋状部よりも側方に飛び出した部分を、前記中央縦山折り線に平行な第2側部山折り線に沿ってさらに山折りして前記袋状部に挿入する工程。

【0016】

なお、本発明において、カードケース又はブックカバーの作成に用いられるシート状材料は、山折り及び谷折りすることができる限りどのような素材から構成されるシート状材料であっても良く、例えば、和紙、洋紙などの紙、又は織布、不織布などの布であっても良く、さらには、合成樹脂シートであっても良い。これらのシート状材料は、四角形であるのが好ましく、中でも長方形であるのがより好ましいが、必ずしも厳密に四角形又は長方形である必要はなく、四角形又は長方形からずれた歪んだ形状や不規則な形状であっても良い。用いるシート状材料が、四角形又は長方形からずれた形状である場合には、シート状材料の下辺に近い位置にポケット底部谷折り線又はポケット頂部山折り線を設定し、設定された前記ポケット底部谷折り線又はポケット頂部山折り線を基準に、それらと平行又は直交する他の山折り線及び谷折り線を設定すれば良い。

10

【0017】

なお、作成されるカードケース又はブックカバーの耐久性を高めたり、汚れの付着を防止するために、シート状材料の一部又は全部に、薄い樹脂フィルムで覆うラミネート加工を施しても良い。また、出来上がった状態を勘案しながら、シート状材料の適宜の位置に、プリント、貼着、縫い付け、刺繍、熱圧着などの適宜の方法で、文字、絵、キャラクター、模様、図形、記号、色彩、写真などを貼り付けて、装飾を施しても良い。さらには、山折り、谷折り、或いは挿入されるシート状材料の適宜の箇所を糊等の接着剤を用いて接着して、作成されるカードケース又はブックカバーの安定性を高めて、形状の崩れを防止するようにしても良い。

20

【発明の効果】

【0018】

本発明のカードケース又はブックカバー、並びにそれらの作成方法によれば、比較的容易に入手することのできる紙や布などのシート状材料を用いて、カードケースやブックカバーを誰もが比較的容易に作成することができるという利点が得られる。紙や布は比較的加工がし易く、プリント、貼着、縫い付け、刺繍、熱圧着などの適宜の方法で、適宜の箇所に写真、絵、キャラクター、文字、図形、模様などの装飾を適宜施すことができるので、作成者又は使用者の好みに合わせた独自のカードケース又はブックカバーを容易に作成することができるという利点が得られる。また、本発明のカードケース又はブックカバー作成用シート状材料によれば、シート状材料の所定位置に、必要な山折り線及び谷折り線が予め記載されているので、それらの指示に従ってシート状材料を折っていくだけでカードケース又はブックカバーを容易に作成することができるという利点が得られる。

30

【図面の簡単な説明】

【0019】

【図1】本発明のカードケース作成用シート状材料の一例を示す図である。

【図2】カードケースの作成手順を示す斜視図である。

【図3】カードケースの作成手順を示す斜視図である。

【図4】カードケースの作成手順を示す斜視図である。

【図5】カードケースの作成手順を示す斜視図である。

【図6】カードケースの作成手順を示す斜視図である。

【図7】カードケースの作成手順を示す斜視図である。

【図8】カードケースの作成手順を示す斜視図である。

【図9】ポケットと側部折り返し部を備えた状態で、シート状材料の上部を、中央横山折り線に沿って山折りし、さらに先端部を上部山折り線に沿って山折りした状態を示す底面図及び部分拡大図である。

40

【図10】袋状部が形成された状態を示す右側面図である。

【図11】カードケースの作成手順を示す斜視図である。

50

- 【図 1 2】カードケースの作成手順を示す正面図である。
- 【図 1 3】出来上がったカードケースの正面図である。
- 【図 1 4】出来上がったカードケースの背面図である。
- 【図 1 5】本発明のカードケース作成用シート状材料の他の一例を示す図である。
- 【図 1 6】カードケースの作成手順を示す正面図である。
- 【図 1 7】カードケースの作成手順を示す斜視図である。
- 【図 1 8】カードケースの作成手順を示す斜視図である。
- 【図 1 9】本発明のブックカバー作成用シート状材料の一例を示す図である。
- 【図 2 0】ブックカバーの作成手順を示す斜視図である。
- 【図 2 1】ブックカバーの作成手順を示す斜視図である。
- 【図 2 2】ブックカバーの作成手順を示す斜視図である。
- 【図 2 3】ポケットと側部折り返し部を備えた状態で、シート状材料の上部を、中央横山折り線に沿って山折りし、さらに先端部を上部山折り線に沿って山折りした状態を示す底面図及び部分拡大図である。
- 【図 2 4】袋状部が形成された状態を示す右側面図である。
- 【図 2 5】ブックカバーの作成手順を示す斜視図である。
- 【図 2 6】出来上がったブックカバーの正面図である。
- 【図 2 7】ブックカバーを用いて本をカバーする様子を示す概略図である。
- 【図 2 8】本発明のブックカバー作成用シート状材料の他の一例を示す図である。
- 【図 2 9】ブックカバーの作成手順を示す斜視図である。
- 【図 3 0】ブックカバーの作成手順を示す斜視図である。
- 【図 3 1】ブックカバーの作成手順を示す斜視図である。
- 【図 3 2】出来上がったブックカバーの正面図である。
- 【図 3 3】ブックカバーを用いて本をカバーする様子を示す概略図である。

10

20

【発明を実施するための形態】

【0020】

以下、図面を用いて本発明を詳細に説明するが、本発明が図示のものに限られないことは勿論である。

【0021】

<カードケース - その 1 - >

図 1 は、本発明のカードケース作成用シート状材料の一例を示す図であり、図 1 中、(a) は平面図、(b) は右側面図を表している。因みに、図 1 (a) の平面図は、本発明のカードケースの一例の展開図でもある。

30

【0022】

図 1 (a) (b) において、1 はシート状材料であり、T はその上辺、B は下辺、R は右辺、L は左辺である。また、 \square はシート状材料 1 の表面、 \square はシート状材料 1 の裏面である。なお、本例では、シート状材料 1 は、上辺 T と下辺 B、及び右辺 R と左辺 L とがそれぞれ互いに平行で、上辺 T と下辺 B、及び右辺 R と左辺 L の長さが、それぞれ等しく、かつ、上辺 T 及び下辺 B よりも、左辺 L 及び右辺 R が長い縦長の長形状をしているが、必ずしも長形状に限られる訳ではない。シート状材料 1 の形状は、四角形であれば良く、作成するカードケースの形状やポケットの数に合わせて、上辺 T 及び下辺 B と、右辺 R 及び左辺 L の長さの比は、適宜変更することができる。ただし、後述するとおり、下辺 B と平行な山折り線及び谷折り線に沿ってシート状材料 1 を折る回数が多いので、上辺 T 及び下辺 B よりも、左辺 L 及び右辺 R が長い長形状であるのが好ましい。

40

【0023】

また、シート状材料 1 は、上辺 T、下辺 B、右辺 R、及び左辺 L で囲まれる四角形の外側にはみ出す部分を有していても良く、その場合、カードケースの作成にあたり、はみ出した部分は、上辺 T、下辺 B、右辺 R、又は左辺 L に沿って切断するか、上辺 T、下辺 B、右辺 R、又は左辺 L に沿って山折り又は谷折りしてシート状材料 1 の外形を四角形状にすれば良い。或いは、はみ出した部分はそのままに、後述する各種の谷折り線及び山折り

50

線を設定して、谷折り又は山折りを実行しても良い。これらの点は、後述するブックカバー作成用シート状材料についても同様である。

【 0 0 2 4 】

図中実線で示した Y b は補助山折り線、Y p t 1 は第 1 ポケット頂部山折り線、Y p t 2 は第 2 ポケット頂部山折り線、Y p t 3 は第 3 ポケット頂部山折り線であり、破線で示した T p b 1 は第 1 ポケット底部谷折り線、T p b 2 は第 2 ポケット底部谷折り線、T p b 3 は第 3 ポケット底部谷折り線である。なお、これらの山折り線及び谷折り線は、いずれも互いに平行であり、本例の場合はシート状材料 1 の下辺 B に平行である。

【 0 0 2 5 】

本例のカードケースにおいては、カードを入れるポケットが 3 個作成されるので、第 1 ポケット底部谷折り線 T p b 1 に加えて、第 2 ポケット底部谷折り線 T p b 2 及び第 3 ポケット底部谷折り線 T p b 3 が設けられ、かつ、第 1 ポケット底部谷折り線 T p b 1 と第 2 ポケット底部谷折り線 T p b 2 との間、及び第 2 ポケット底部谷折り線 T p b 2 と第 3 ポケット底部谷折り線 T p b 3 との間に、それぞれ、第 2 ポケット頂部山折り線 Y p t 2 及び第 3 ポケット頂部山折り線 Y p t 3 が設けられている。しかしながら、ポケット頂部山折り線及びポケット底部谷折り線の本数は図示のものに限られない。例えば、作成されるカードケースのポケットが 2 個で良い場合には、第 3 ポケット頂部山折り線 Y p t 3 及び第 3 ポケット底部谷折り線 T p b 3 は不要であり、ポケットが 1 個で良い場合には、第 2 ポケット頂部山折り線 Y p t 2 及び第 2 ポケット底部谷折り線 T p b 2 も不要である。なお、ポケットが 4 個以上作成される場合には、ポケット頂部山折り線とポケット底部谷折り線とのセットで、ポケット頂部山折り線とポケット底部谷折り線の数を増やしていけば良い。

【 0 0 2 6 】

また、場合によっては、第 1 ポケット頂部山折り線 Y p t 1 は設けなくても良いし、補助山折り線 Y b もなくても良い。ただし、第 1 ポケット底部谷折り線 T p b 1 よりもシート状材料 1 の下辺 B に近い位置に第 1 ポケット頂部山折り線 Y p t 1 が設けられている場合には、少なくともポケットの上部で手前側のシート状材料 1 が二重になるので、ポケットの耐久性が増し、また、ポケットの入り口部に厚みが増え、見栄えも良くなるという利点がある。また、第 1 ポケット頂部山折り線 Y p t 1 よりもさらに下辺 B に近い側に補助山折り線 Y b が設けられている場合には、ポケットの手前側のシート状材料 1 が三重になるので、ポケットの耐久性がより高まるとともに、ポケットの手前側下端に厚みが増え、見栄えもより一層良くなるという利点が得られる。したがって、第 1 ポケット頂部山折り線 Y p t 1 は設けるのが好ましく、補助山折り線 Y b も設ける方が良い。

【 0 0 2 7 】

Y s 1 は第 1 側部山折り線、Y s 2 は第 2 側部山折り線であり、いずれも、第 1 ポケット底部谷折り線 T p b 1 に直交しており、互いに平行である。なお、本例においては、シート状材料 1 は長方形であり、下辺 B 及び上辺 T と、左辺 R 及び右辺 L とは直交しているので、第 1 側部山折り線 Y s 1 及び第 2 側部山折り線 Y s 2 はシート状材料 1 の右辺 R 又は左辺 L に平行である。なお、下辺 B と補助山折り線 Y b の間、第 1 ポケット頂部山折り線 Y p t 1 と第 1 ポケット底部谷折り線 T p b 1 の間、第 2 ポケット頂部山折り線 Y p t 2 と第 2 ポケット底部谷折り線 T p b 2 との間、及び第 3 ポケット頂部山折り線 Y p t 3 と第 3 ポケット底部谷折り線 T p b 3 との間に、第 1 側部山折り線 Y s 1 が設けられていないのは、これらの部分が、第 1 側部山折り線 Y s 1 に沿って山折りをする状態において、シート状材料 1 の表面側に現れていないからである。第 2 側部山折り線 Y s 2 が設けられていない部分についても同様である。なお、本例においては、第 1 側部山折り線 Y s 1 はシート状材料 1 の右辺 R 側に、第 2 側部山折り線 Y s 2 は左辺 L 側に設けられているが、両者の位置は逆であっても良い。

【 0 0 2 8 】

Y L は中央横山折り線、Y t は上部山折り線、Y V は中央縦山折り線、T C は蓋谷折り線である。中央横山折り線 Y L、上部山折り線 Y t、及び蓋谷折り線 T C は第 1 ポケット

10

20

30

40

50

底部谷折り線 $Tpb1$ に平行であり、本例の場合、シート状材料 1 の上辺 T に平行でもある。中央縦山折り線 YV は第 1 ポケット底部谷折り線 $Tpb1$ に直交しており、本例の場合、シート状材料 1 の右辺 R 又は左辺 L に平行でもある。なお、蓋谷折り線 TC は、蓋山折り線であっても良い。これらの山折り線及び谷折り線についても、山折り又は谷折りするとき、シート状材料 1 の表面側に現れない部分については記載していない。

【0029】

図中、 $L1 \sim L16$ は、それぞれの部分の長さを表している。すなわち、 $L2 \sim L9$ は、互いに平行な山折り線又は谷折り線間の距離、 $L1$ 及び $L10$ は補助山折り線 Yb 又は上部山折り線 Yt と下辺 B 又は上辺 T までの距離を表し、 $L11$ は第 3 ポケット底部谷折り線 $Tpb3$ からそれと平行な蓋谷折り線 TC までの距離を、また、 $L12$ は蓋谷折り線 TC からそれと平行な中央横山折り線 YL までの距離を表しており、 $L11 + L12 = L8$ の関係にある。 $L13 \sim L16$ は、それぞれ、シート状材料 1 の左辺 L から第 1 ポケット底部谷折り線 $Tpb1$ と直交し、本例の場合左辺 L に平行でもある第 2 側部山折り線 $Ys2$ までの距離、第 2 側部山折り線 $Ys2$ からそれと平行な中央縦山折り線 YV までの距離、中央縦山折り線 YV からそれと平行な第 1 側部山折り線 $Ys1$ までの距離、及び第 1 側部山折り線 $Ys1$ から右辺 R までの距離を表している。

10

【0030】

第 1 ポケット頂部山折り線 $Ypt1$ と第 1 ポケット底部谷折り線 $Tpb1$ との距離 $L3$ が、下辺 B に最も近い手前側に形成される第 1 ポケット $P1$ の深さに対応する。同様に、第 2 ポケット頂部山折り線 $Ypt2$ と第 2 ポケット底部谷折り線 $Tpb2$ との距離 $L5$ が第 1 ポケット $P1$ の奥に形成される第 2 ポケット $P2$ の深さに、そして第 3 ポケット頂部山折り線 $Ypt3$ と第 3 ポケット底部谷折り線 $Tpb3$ との距離 $L7$ がさらに奥に形成される第 3 ポケット $P3$ の深さに、それぞれ対応している。

20

【0031】

なお、奥側に位置するポケットが手前側に位置するポケットで隠されてしまわないように、例えば、第 1 ポケット頂部山折り線 $Ypt1$ から第 1 ポケット底部谷折り線 $Tpb1$ までの距離 $L3$ 、即ち第 1 ポケット $P1$ の深さは、第 1 ポケット底部谷折り線 $Tpb1$ から、奥側に位置する第 2 ポケット $P2$ の第 2 ポケット頂部山折り線 $Ypt2$ までの距離 $L4$ よりも短く設定されている。これにより、第 2 ポケット $P2$ が手前側に位置する第 1 ポケット $P1$ によって隠されてしまうことがない。なお、第 1 ポケット頂部山折り線 $Ypt1$ が設定されていないときには、補助山折り線 Yb も存在しないので、シート状材料 1 の下辺 B から第 1 ポケット底部谷折り線 $Tpb1$ までの距離が距離 $L3$ となり、第 1 ポケット $P1$ の深さに相当することになる。

30

【0032】

同様に、第 2 ポケット頂部山折り線 $Ypt2$ から第 2 ポケット底部谷折り線 $Tpb2$ までの距離 $L5$ 、即ち第 2 ポケット $P2$ の深さは、第 2 ポケット底部谷折り線 $Tpb2$ から、奥側に位置する第 3 ポケット $P3$ の第 3 ポケット頂部山折り線 $Ypt3$ までの距離 $L6$ よりも短く設定されている。これにより、第 3 ポケット $P3$ が手前側に位置する第 2 ポケット $P2$ によって隠されてしまうことがない。

40

【0033】

逆に、奥側に位置するポケットを手前側に位置するポケットで隠したい場合には、手前側に位置するポケットの深さを、当該ポケットを形成するポケット底部谷折り線から奥側に位置するポケットを形成するポケット頂部山折り線までの距離よりも長くすれば良いことはいうまでもない。因みに、本明細書において、手前側とは、シート状材料 1 の表面を上にして、山折り又は谷折りをしていったときに、シート状材料のより上側となる方を意味し、奥側とは、その反対に、山折り又は谷折りされたシート状材料 1 のより下側となる方を意味する。

【0034】

第 3 ポケット頂部山折り線 $Ypt3$ から第 3 ポケット底部谷折り線 $Tpb3$ までの距離 $L7$ は第 3 ポケットの深さに相当するが、この深さは、最終的に蓋谷折り線 TC に沿って

50

谷折りして蓋を形成する必要上、第3ポケット谷折り線T p b 3から蓋谷折り線T Cまでの距離L 1 1よりも短く設定されている。

【0035】

なお、本例においては、距離L 2とL 3、距離L 4とL 5、距離L 6とL 7、及び距離L 8とL 9は、それぞれ同じ長さに設定されているが、必ずしも同じ長さである必要はなく、互いに異なっていても良い。後述するとおり、シート状材料1の上辺Tは、中央横山折り線Y Lと、上部山折り線Y tに沿って山折りされて、側部折り返し部と係合する位置に差し込まれるので、距離L 8、L 9、L 10は、 $(L 9 + L 10) > L 8$ の関係にある。すなわち、第3ポケット底部谷折り線T p b 3から中央横山折り線Y Lまでの距離L 8は、第3ポケット底部谷折り線T p b 3からシート状材料1の上辺Tまでの長さを2等分した位置よりも、シート状材料1の下辺Bに近い位置に設定されており、第1ポケットP 1～第3ポケットP 3が形成された状態で、中央横山折り線Y Lに沿ってシート状材料1の上部を山折りして、反対側に折り返したとき、シート状材料1の先端部がシート状材料1の下端部よりも下方に飛び出す位置に設定されていることになる。因みに、後述するとおり、シート状材料1をポケット頂部山折り線Y p t 1～Y p t 3及びポケット底部谷折り線T p b 1～T p b 3に沿って山折り又は谷折りしてポケットP 1～P 3を形成したとき、第3ポケット谷折り線T p b 3は、折りたたまれたシート状材料1の下端部に位置することになり、また上辺Tがシート状材料1の上端部になるので、中央横山折り線Y Lは、ポケットP 1～P 3と前記側部折り返し部を備えた状態で、シート状材料1の下端部からシート状材料1の上端部までの長さを2等分した位置よりもシート状材料の下端部に近い位置にあることになる。

10

20

【0036】

同様に、後述するとおり、シート状材料1の左辺Lは、中央縦山折り線Y Vと、第2側部山折り線Y s 2に沿って山折りされて、シート状材料1の右辺Rを第1側部山折り線Y s 1に沿って山折りして形成された袋状部に差し込まれるので、距離L 13～L 15は、 $(L 13 + L 14) > L 15$ の関係にある。すなわち、第1側部山折り線Y s 1から中央縦山折り線Y Vまでの距離L 15は、第1側部山折り線Y s 1からシート状材料1の左辺Lまでの長さを2等分した位置よりも、第1側部山折り線Y s 1に近い位置に設定されている。換言すれば、中央縦山折り線Y Vは、前記袋状部が形成された状態で、シート状材料1の左右端部間の長さ、すなわち、第1側部山折り線Y s 1から左辺Lまでの長さ $(= L 15 + L 14 + L 13)$ を2等分した位置よりも第1側部山折り線Y s 1に近い位置にあることになり、中央縦山折り線Y Vに沿ってシート状材料1の前記袋状部とは反対側の部分を山折りして反対側に折り返したとき、反対側に折り返されたシート状材料1の側端部が前記袋状部より側方に飛び出す位置に設定されていることになる。

30

【0037】

Aは、カードケースが完成したときに、蓋の外側になる部分であり、予めこの部分に写真をプリントするなどして、好みの装飾を施しておくことができる。

【0038】

次に、図2～図14に基づいて、図1に示すカードケース作成用シート状材料1を用いて作成される本発明のカードケース及びその作成方法を説明する。

40

【0039】

図2は、図1に示すカードケース作成用シート状材料1の下部を、補助山折り線Y bに沿って山折りした状態を示す斜視図である。図に示すとおり、下辺Bから距離L 1に相当する部分が、補助山折り線Y bに沿って略180度折られ、シート状材料1の裏面の側に折られている。このように本明細書において山折りとは、シート状材料1の表面の側に山の頂部が生じるような折り方をいい、逆に谷折りとは、シート状材料1の表面の側に谷の底部が生じるような折り方をいう。

【0040】

図3は、図2に示す状態から、さらに第1ポケット頂部山折り線Y p t 1に沿って、シート状材料1の下部を山折りした状態を示している。

50

【 0 0 4 1 】

図 4 は、図 3 に示す状態から、さらに第 1 ポケット底部谷折り線 $T p b 1$ に沿ってシート状材料 1 の下部を谷折りし、シート状材料 1 の表面側に第 1 ポケット $P 1$ が形成された状態を示している。第 1 ポケット頂部山折り線 $Y p t 1$ と第 1 ポケット底部谷折り線 $T p b 1$ までの距離 $L 3$ が第 1 ポケット $P 1$ の深さに相当する。

【 0 0 4 2 】

図 5 は、図 4 に示す状態から、さらに第 2 ポケット頂部山折り線 $Y p t 2$ に沿って山折りするとともに、第 2 ポケット底部谷折り線 $T p b 2$ に沿って谷折りし、シート状材料 1 の表面側に、第 1 ポケット $P 1$ に続いて、第 2 ポケット $P 2$ が形成された状態を示している。第 2 ポケット頂部山折り線 $Y p t 2$ と第 2 ポケット底部谷折り線 $T p b 2$ までの距離 $L 5$ が第 2 ポケット $P 2$ の深さに相当する。

10

【 0 0 4 3 】

図 6 は、図 5 に示す状態から、さらに第 3 ポケット頂部山折り線 $Y p t 3$ に沿って山折りするとともに、第 3 ポケット底部谷折り線 $T p b 3$ に沿って谷折りし、シート状材料 1 の表面側に、第 1 ポケット $P 1$ 及び第 2 ポケット $P 2$ に続いて、第 3 ポケット $P 3$ が形成された状態を示している。第 3 ポケット頂部山折り線 $Y p t 3$ と第 3 ポケット底部谷折り線 $T p b 3$ までの距離 $L 7$ が第 3 ポケット $P 3$ の深さに相当する。

【 0 0 4 4 】

なお、上記の説明では、下辺 B により近い位置にある山折り線又は谷折り線から順にシート状材料 1 の下部を山折り又は谷折りしているが、山折り又は谷折りの順序は、必ずしも下辺 B に近い側から順に折らなければならない訳ではない。ポケット $P 1 \sim P 3$ を形成する補助山折り線 $Y b$ 、第 1 ～第 3 ポケット頂部山折り線 $Y p t 1 \sim Y p t 3$ 、及び第 1 ～第 3 ポケット底部谷折り線 $Y p b 1 \sim Y p b 3$ に関しては、結果として、ポケット $P 1 \sim P 3$ が形成されれば良く、その折る順序は上に説明した順序に限られず、任意であって良い。

20

【 0 0 4 5 】

図 7 は、ポケット $P 1 \sim P 3$ が形成された図 6 に示す状態から、第 1 側部山折り線 $Y s 1$ に沿ってシート状材料 1 の右側部を山折りし、反対側、すなわち裏面側に折り返して側部折り返し部を形成した状態を示している。因みに、第 1 側部山折り線 $Y s 1$ が、シート状材料 1 の左辺 L 側に設定されている場合には、シート状材料 1 の左側部を山折りし、裏面側に折り返した部分が側部折り返し部になることはいうまでもない。

30

【 0 0 4 6 】

図 8 は、図 7 に示す状態、すなわち、ポケット $P 1 \sim P 3$ と側部折り返し部を備えた状態で、シート状材料 1 の上部を、中央横山折り線 $Y L$ に沿って山折りし、裏面側に折り返すとともに、折り返されたシート状材料 1 の先端部（長さ $L 10$ の部分）を上部山折り線 $Y t$ に沿ってさらに山折りした状態を示している。前述したとおり、中央横山折り線 $Y L$ の位置は、ポケット $P 1 \sim P 3$ と側部折り返し部を備えた状態で、シート状材料 1 の下端部（本例の場合は第 3 ポケット底部谷折り線 $T p b 3$ ）からシート状材料 1 の上端部、すなわち上辺 T までの長さを 2 等分した位置よりもシート状材料 1 の下端部に近い位置に設定されており、 $(L 9 + L 10) > L 8$ の関係にあるので、シート状材料 1 の上部を中央横山折り線 $Y L$ に沿って山折りすると、シート状材料 1 の先端部の少なくとも一部はシート状材料 1 の下端部よりも下方に飛び出すことになる。上部山折り線 $Y t$ は、この飛び出した部分がさらに山折りされる位置に設定されている。本例においては、 $L 8 = L 9$ とされているので、ちょうど $L 10$ の長さに相当する部分がシート状材料 1 の下端部である第 3 ポケット底部谷折り線 $T p b 3$ よりも下方に飛び出す部分となり、上部山折り線 $Y t$ に沿ってさらに山折りされる部分となる。

40

【 0 0 4 7 】

なお、本例においては、 $L 6 = L 7$ に設定されているので、ポケット $P 1 \sim P 3$ と側部折り返し部を備えた状態で、第 3 ポケット底部谷折り線 $T p b 3$ の位置がシート状材料 1 の下端部となるが、例えば、 $L 6 > L 7$ であれば、第 2 ポケット底部谷折り線 $T p b 2$

50

の位置がポケットP1～P3と側部折り返し部を備えた状態でのシート状材料1の下端部となり、さらに、 $L4 > L5$ であれば、第1ポケット底部谷折り線Tpb1の位置がポケットP1～P3と側部折り返し部を備えた状態でのシート状材料1の下端部となる。

【0048】

図9は、図8の底面図であり、部分的に2箇所だけ拡大して示してある。図9に示すとおり、シート状材料1の下端部は、3つの谷折り線Tpb1～Tpb3及び4つの山折り線Yb及びYpt1～Ypt3から構成されており、その右側端部が折り返されて側部折り返し部が形成されている状態にある。このような状態で、側部折り返し部のうち、上部山折り線Ytに沿ってさらに山折りされた先端部に位置する側部先端折り返し部tは、シート状材料1の下部に位置する側部折り返し部と係合する位置に差し込まれる。図では、シート状材料1の折り返し部における補助山折り線Ybと第1ポケット底部谷折り線Tpb1との間に、上部山折り線Ytに沿って折り返された先端部に位置する側部先端折り返し部tが差し込まれ、側部先端折り返し部tは、シート状材料1の下部に位置する側部折り返し部と係合する。

10

【0049】

なお、側部先端折り返し部tを差し込む箇所は、側部先端折り返し部tがシート状材料1の下部に位置する側部折り返し部と係合する位置であればよく、折り返し部における補助山折り線Ybと第1ポケット底部谷折り線Tpb1との間に限られない。例えば、図中に細い矢印で示すとおり、側部折り返し部における第3ポケット底部谷折り線Tpb3と第2ポケット底部谷折り線Tpb2との間であっても良く、側部折り返し部における第2ポケット底部谷折り線Tpb2と第1ポケット底部谷折り線Tpb1との間であっても良く、さらには、シート状材料1の本体部に位置する第3ポケット底部谷折り線Tpb3と、シート状材料1の側部折り返し部における第3ポケット底部谷折り線Tpb3との間であっても良い。ただし、側部先端折り返し部tを側部折り返し部と十分に係合させるという観点からは、側部先端折り返し部tは、折り返し部における補助山折り線Ybと第1ポケット底部谷折り線Tpb1との間に差し込まれるのが最も好ましい。

20

【0050】

このとき、係合をより確実なものとするために、差し込まれる側部先端折り返し部tの片面若しくは両面、又は、側部先端折り返し部tが差し込まれた状態で側部先端折り返し部tと接触するシート状材料1の裏面又は折り返し部の部分に糊等の適宜の接着剤を塗布し、両者を係合させた状態で接着するようにしても良い。

30

【0051】

図10は、側部先端折り返し部tを、折り返し部における補助山折り線Ybと第1ポケット底部谷折り線Tpb1との間に差し込んで、シート状材料1の下部に位置する側部折り返し部と係合させた状態を示す右側面図である。図10に示すとおり、シート状材料1の右側部には、図中ハッチングを付して示す、折り返し部で囲まれた袋状部が形成されている。

【0052】

図11は、袋状部が形成された状態で、シート状材料1の左側を中央縦山折り線YVに沿って山折りし、裏面側に折り返すとともに、折り返されたシート状材料1の先端部(長さL13の部分)を第2側部山折り線Ys2に沿ってさらに山折りした状態を示している。前述したとおり、中央縦山折り線YVの位置は、側部折り返し部と袋状部が形成された状態で、シート状材料1の左右端部間の長さ、すなわち、 $(L13 + L14 + L15)$ を2等分した位置よりも第1側部山折り線Ys1に近い位置に設定されており、 $(L13 + L14) > L15$ の関係にあるので、シート状材料1の左側(すなわち袋状部とは反対側の部分)を中央縦山折り線YVに沿って山折りすると、山折りされたシート状材料1の先端部の少なくとも一部はシート状材料1の右端部(すなわち袋状部)よりも側方に飛び出すことになる。第2側部山折り線Ys2は、この飛び出した部分がさらに山折りされる位置に設定されている。本例においては、 $L14 = L15$ とされているので、

40

50

ちょうどL13の長さに相当する部分がシート状材料1の右端部である袋状部よりも右側に飛び出す部分となり、第2側部山折り線Ys2に沿ってさらに山折りされ、その山折りされた部分が袋状部に挿入される。

【0053】

このとき、挿入状態をより確実なものとするために、挿入する山折りされた先端部の片面若しくは両面、又は、挿入する山折りされた先端部と接触する袋状部の内面に糊等の適宜の接着剤を塗布し、挿入した状態で両者を接着するようにしても良い。

【0054】

図12は、第2側部山折り線Ys2に沿って山折りした部分を袋状部内に挿入した状態を示す図である。この状態で、シート状材料1の上部を、蓋谷折り線TCに沿って谷折りすると、図13の正面図に示すとおり、蓋Cと第1ポケット～第3ポケットP1～P3を備える本発明のカードケースCCが完成する。本例のカードケースCCは、3つのポケットP1～P3を備えており、各ポケットに適宜のカードを収納して、持ち運ぶことができる。また、図14の背面図に示すとおり、本例のカードケースCCは、裏面にも3つのポケットP1～P3を備えているので、必要であれば、裏面にも適宜のカードを収納することが可能である。

10

【0055】

図1(a)において、Aで示す領域が図13において蓋Cの表面になる領域であり、予め領域Aに適宜の装飾を施しておけば、完成したカードケースCCにおいて蓋Cの表面に装飾が現れることになる。なお、蓋Cの表面や、その他の部分を含めて、適宜の箇所に薄い樹脂フィルムを貼り付けるラミネート加工を施して、その耐久性と美観を増すようにしても良い。

20

【0056】

本例において、蓋Cの縦方向の長さL12は、カードケースCCのポケット部の長さL11よりも、若干短く設定されており、L12がL11よりも若干短くなる位置に蓋谷折り線TCが設定されている。なお、蓋谷折り線TCは蓋山折り線YCであっても良く、その場合には、蓋Cは蓋山折り線YCに沿って反対側に折り返されるが、反対側にも第1ポケット～第3ポケットP1～P3は形成されているので、向こう側が正面となるカードケースCCが作成されることになる。

【0057】

<カードケース - その2 - >

図15は、本発明のカードケース作成用シート状材料1の他の一例を示す図であり、図15中、(a)は平面図、(b)は右側面図を表している。因みに、図15(a)の平面図は、本発明のカードケースの他の一例の展開図でもある。

30

【0058】

図15に示す例においては、中央縦山折り線YVよりも第1側部山折り線Ys1の側、換言すれば形成される袋状部が位置する側に、中央縦山折り線YVと平行な第1マチ部山折り線Ym1が、そして、中央縦山折り線YVと第1マチ部山折り線Ym1との間に、中央縦山折り線YVと平行な第1マチ部谷折り線Tm1が設定されているとともに、第2側部山折り線Ys2よりも中央縦山折り線YVが位置する側に、第2側部山折り線Ys2と平行な第2マチ部山折り線Ym2が、そして、第2側部山折り線Ys2と第2マチ部山折り線Ym2との間に、第2側部山折り線Ys2と平行な第2マチ部谷折り線Tm2が設定されている点が、図1に示す例とは異なっている。なお、第1マチ部谷折り線Tm1は、中央縦山折り線YVと第1マチ部山折り線Ym1との双方から等距離の位置に、第2マチ部谷折り線Tm2は、第2側部山折り線Ys2と第2マチ部山折り線Ym2との双方から等距離の位置に設定されるのが望ましい。

40

【0059】

図16は、図15に示すシート状材料1を用いて、先に図2～図9に基づいて説明したと同様の工程を経て、シート状材料1の上部山折り線Ytに沿って山折りされた先端部に位置する側部先端折り返し部tが、シート状材料1の下部に位置する側部折り返し部

50

と係合する位置に差し込まれて、袋状部 が形成された状態を示している。図 16 に示すとおり、中央縦山折り線 V L の右側には第 1 マチ部谷折り線 T m 1 及び第 1 マチ部山折り線 Y m 1 が、第 2 側部山折り線 Y s 2 の右側には第 2 マチ部谷折り線 T m 2 及び第 2 マチ部山折り線 Y m 2 が、それぞれ存在している。

【 0 0 6 0 】

図 17 は、図 16 に示す状態、すなわち、袋状部 が形成された状態から、シート状材料 1 を、第 1 マチ部谷折り線 T m 1 及び第 1 マチ部山折り線 Y m 1 に沿って、それぞれ谷折り及び山折りするとともに、第 2 マチ部谷折り線 T m 1 及び第 2 マチ部山折り線 Y m 1 に沿って、それぞれ谷折り及び山折りし、さらに、シート状材料 1 の袋状部 とは反対側の部分を山折りして反対側に折り返すとともに、その反対側に折り返した先端部を第 2 側部山折り線 Y s 2 に沿って山折りした状態を表している。図 17 に見られるとおり、折り返されたシート状材料 1 の左側端部には、中央縦山折り線 Y V、第 1 マチ部谷折り線 T m 1、及び第 1 マチ部山折り線 Y m 1 に沿った山折り及び谷折りによって形成される第 1 マチ部が形成され、シート状材料 1 の折り返された第 2 側部山折り線 Y s 2 の左側には、第 2 側部山折り線 Y s 2、第 2 マチ部谷折り線 T m 2、及び第 2 マチ部山折り線 Y m 2 に沿った山折り及び谷折りによって形成される第 2 マチ部が形成されている。

【 0 0 6 1 】

図 18 は、図 17 に示す状態から、袋状部 よりも側方に飛び出したシート状材料 1 の先端部を袋状部 に挿入した状態を示している。図に示すとおり、シート状材料 1 の左右の端部には、それぞれ、中央縦山折り線 Y V、第 1 マチ部谷折り線 T m 1、及び第 1 マチ部山折り線 Y m 1 に沿った山折り及び谷折りによって形成される第 1 マチ部と、第 2 側部山折り線 Y s 2、第 2 マチ部谷折り線 T m 2、及び第 2 マチ部山折り線 Y m 2 に沿った山折り及び谷折りによって形成される第 2 マチ部が形成されている。

【 0 0 6 2 】

この状態で、シート状材料 1 の上部を、蓋谷折り線 T C に沿って谷折りすると、先に図 13 を用いて説明したとおり、蓋 C と第 1 ポケット ~ 第 3 ポケット P 1 ~ P 3 を備える本発明のカードケース C C が完成する。本例のカードケース C C は、3 つのポケット P 1 ~ P 3 を備えるとともに、カードケースの左右の端部に第 1 マチ部及び第 2 マチ部を有しているため、各ポケットにカードを収納した状態で前後に膨らむことができ、先に図 1 ~ 図 14 を用いて説明したカードケースよりも多くの枚数のカードを収納することができるという利点を有している。

【 0 0 6 3 】

< ブックカバー - その 1 - >

図 19 は、本発明のブックカバー作成用シート状材料 10 の一例を示す図であり、図 19 中、(a) は平面図、(b) は右側面図を表している。因みに、図 19 (a) の平面図は、本発明のブックカバーの一例の展開図でもある。

【 0 0 6 4 】

本例のブックカバーにおいては、ポケットは本の表紙を差し込むために 1 つあれば良いので、第 2 ポケット頂部山折り線 Y p t 2、第 2 ポケット底部谷折り線 T p b 2、第 3 ポケット頂部山折り線 Y p t 3、第 3 ポケット底部谷折り線 T p b 3 は設けられていない。また、蓋に相当する部分が不要であるため、蓋谷折り線 T C が設けられていない。これらの点を除けば、図 19 に示すブックカバー作成用シート状材料 10 は、図 1 に示したカードケース作成用シート状材料 1 と基本的に同じであり、同じ辺、面、及び線には同じ符号を付してある。

【 0 0 6 5 】

図 19 (a) において、シート状材料 10 は、上辺 T と下辺 B、及び右辺 R と左辺 L とがそれぞれ互いに平行で、上辺 T と下辺 B、及び右辺 R と左辺 L の長さが、それぞれ等しく、かつ、上辺 T 及び下辺 B よりも、左辺 L 及び右辺 R が長い縦長の長方形状をしているが、必ずしも長方形状に限られる訳ではない。シート状材料 10 の形状は、四角形であれば良く、カバーする本の大きさや形状に合わせて、上辺 T 及び下辺 B と、右辺 R 及び左辺

10

20

30

40

50

Lの長さの比は、適宜変更することができる。

【0066】

また、シート状材料10は、前述したシート状材料1と同様に、上辺T、下辺B、右辺R、及び左辺Lで囲まれる四角形の外側にはみ出す部分を有していても良く、その場合、ブックカバーの作成にあたり、はみ出した部分は、上辺T、下辺B、右辺R、又は左辺Lに沿って切断するか、上辺T、下辺B、右辺R、又は左辺Lに沿って山折り又は谷折りしてシート状材料10の外形を四角形状にすれば良い。或いは、はみ出した部分はそのままに、後述する各種の谷折り線及び山折り線を設定して、谷折り又は山折りを実行しても良い。

【0067】

図中、補助山折り線Yb、第1ポケット頂部山折り線Ypt1、第1ポケット底部谷折り線Tpb1、及び中央横山折り線YL、上部山折り線Ytは、いずれも互いに平行であり、第1側部山折り線Ys1、第2側部山折り線Ys2、中央縦山折り線YVは、いずれも、第1ポケット底部谷折り線Tpb1に直交している。なお、本例の場合、シート状材料10は長方形であり、第1ポケット底部谷折り線Tpb1は下辺Bに平行に設定されているので、第1ポケット底部谷折り線Tpb1を含めて、第1ポケット頂部山折り線Ypt1、中央横山折り線YL、及び上部山折り線Ytは、いずれもシート状材料10の下辺B又は上辺Tに平行であり、第1側部山折り線Ys1、第2側部山折り線Ys2、中央縦山折り線YVは、いずれも、シート状材料10の右辺R又は左辺Lに平行である。なお、Tbは補助谷折り線であり、ブックカバーとなった状態で、カバーする本の一方の表紙を挟み込むためにブックカバーの一端を谷折りするときの谷折り線である。補助谷折り線Tbは、中央横山折り線YLと平行であり、中央横山折り線YLから補助谷折り線Tbまでの長さがカバーする本の一方の表紙を挟み込む折り返し部の長さに相当している。

【0068】

場合によっては、第1ポケット頂部山折り線Ypt1は設けなくても良いし、補助山折り線Ybもなくとも良い。ただし、第1ポケット底部谷折り線Tpb1よりもシート状材料10の下辺Bに近い位置に第1ポケット頂部山折り線Ypt1が設けられている場合には、少なくともポケットの上部で手前側のシート状材料10が二重になるので、ポケットの耐久性が増し、また、ポケットの入り口部に厚み加わり、見栄えも良くなるという利点がある。また、第1ポケット頂部山折り線Ypt1よりもさらに下辺Bに近い側に補助山折り線Ybが設けられている場合には、ポケットの手前側のシート状材料10が三重になるので、ポケットの耐久性がより高まるとともに、ポケットの手前側下端に厚み加わり、見栄えもより一層良くなるという利点が得られる。したがって、第1ポケット頂部山折り線Ypt1は設けるのが好ましく、補助山折り線Ybも設ける方が良い。

【0069】

図19中、L17~L27は、それぞれの部分の長さを表している。すなわち、L17~L22は、互いに平行な山折り線又は谷折り線間の距離、或いは補助山折り線Yb又は上部山折り線Ytと下辺B又は上辺Tまでの距離を表している。本例においては、L18とL19の長さは等しくL18=L19であるとともに、L20とL21の長さも等しく、L20=L21である。後述する説明から明らかとなり、L20の長さは、カバーする本の表紙、背表紙、及び裏表紙の各横方向の長さを加算した長さに、カバーする本の一方の表紙を挟み込む折り返し部の長さL27を加算した長さ選ばれている。

【0070】

L23~L26は、それぞれ、シート状材料10の左辺Lから左辺Lに平行な第2側部山折り線Ys2までの距離、第2側部山折り線Ys2から中央縦山折り線YVまでの距離、中央縦山折り線YVから第1側部山折り線Ys1までの距離、及び第1側部山折り線Ys1から右辺Rまでの距離を表している。本例においては、L24とL25の長さは等しい。

【0071】

次に、図20~図27に基づいて、図19に示すブックカバー作成用シート状材料10

10

20

30

40

50

を用いて作成される本発明のブックカバー及びその作成方法を説明する。

【0072】

図20は、図19に示すブックカバー作成用シート状材料10の下部を、補助山折り線Yb及び第1ポケット頂部山折り線Ypt1に沿って山折りし、さらに、第1ポケット底部谷折り線Tpb1に沿って谷折りして、シート状材料10の表面側に第1ポケットP1が形成された状態を示している。第1ポケット頂部山折り線Ypt1と第1ポケット底部谷折り線Tpb1までの距離L19が第1ポケットP1の深さに相当する。

【0073】

図21は、第1ポケットP1が形成された図20に示す状態から、第1側部山折り線Ys1に沿ってシート状材料10の右側部を山折りし、反対側、すなわち裏面側に折り返して、側部折り返し部を形成した状態を示している。第1側部山折り線Ys1はシート状材料10の左端側に設定されていても良く、第1側部山折り線Ys1が、シート状材料10の左辺L側に設定されている場合には、シート状材料10の左側部を山折りし、裏面側に折り返した部分が側部折り返し部になることになる。

【0074】

図22は、図21に示す状態、すなわち、第1ポケットP1と側部折り返し部を備えた状態で、シート状材料10の上部を、中央横山折り線YLに沿って山折りし、裏面側に折り返すとともに、折り返されたシート状材料10の先端部(長さL22の部分)を上部山折り線Ytに沿ってさらに山折りした状態を示している。中央横山折り線YLの位置は、中央横山折り線YLに沿ってシート状材料10の上部を山折りして反対側に折り返したとき、シート状材料10の先端部がシート状材料10の下端部よりも下方に飛び出す位置に設定されている。すなわち、本例の場合、中央横山折り線YLの位置は、第1ポケットP1と側部折り返し部が形成された状態で、シート状材料10の下端部(本例の場合は第1ポケット底部谷折り線Tpb1)からシート状材料10の上端部、すなわち上辺Tまでの長さを2等分した位置よりもシート状材料10の下端部に近い位置に設定されており、 $(L21 + L22) > L20$ の関係にあるので、シート状材料10の上部を中央横山折り線YLに沿って山折りすると、シート状材料10の先端部の少なくとも一部はシート状材料10の下端部よりも下方に飛び出すことになる。上部山折り線Ytは、この飛び出した部分がさらに山折りされる位置に設定されている。本例においては、 $L20 = L21$ とされているので、ちょうどL22の長さに相当する部分がシート状材料10の下端部である第1ポケット底部谷折り線Tpb1よりも下方に飛び出す部分となり、上部山折り線Ytに沿ってさらに山折りされる部分となる。

【0075】

図23は、図22の底面図であり、部分的に2箇所だけ拡大して示してある。図23に示すとおり、シート状材料10の下端部は、1つの谷折り線Tpb1及び2つの山折り線Yb及びYpt1から構成されており、その右側端部が折り返されて側部折り返し部が形成されている状態にある。このような状態で、側部折り返し部のうち、上部山折り線Ytに沿ってさらに山折りされた先端部に位置する側部先端折り返し部tは、シート状材料10の下部に位置する側部折り返し部と係合する位置に差し込まれる。図では、側部先端折り返し部tは、側部折り返し部における第1ポケット底部谷折り線Tpb1と補助山折り線Ybとの間に差し込まれ、シート状材料10の下部に位置する側部折り返し部と安定的に係合する。

【0076】

なお、側部先端折り返し部tを差し込む箇所は、側部先端折り返し部tがシート状材料10の下部に位置する側部折り返し部と係合する位置であればよく、例えば、シート状材料10の本体部に位置する第1ポケット底部谷折り線Tpb1と、シート状材料10の側部折り返し部における第1ポケット底部谷折り線Tpb1との間であっても良い。ただし、側部先端折り返し部tを側部折り返し部と十分に安定的に係合させるという観点からは、側部先端折り返し部tは、側部折り返し部における第1ポケット底部谷折り線Tpb1と補助山折り線Ybとの間に差し込まれるのが望ましい。

【 0 0 7 7 】

このとき、係合をより確実なものとするために、差し込まれる側部先端折り返し部 t の片面若しくは両面、又は、側部先端折り返し部 t が差し込まれた状態で側部先端折り返し部 t と接触するシート状材料 10 の裏面 又は折り返し部 の部分に糊等の適宜の接着剤を塗布し、両者を係合させた状態で接着するようにしても良い。

【 0 0 7 8 】

図 2 4 は、側部先端折り返し部 t を、側部折り返し部 における第 1 ポケット底部谷折り線 $T p b 1$ と補助山折り線 $Y b$ との間に差し込んで、シート状材料 10 の下部に位置する側部折り返し部 と係合させた状態を示す右側面図である。シート状材料 10 の右側部には、図中ハッチングを付して示すとおり、折り返し部 で囲まれた袋状部 が形成さ 10

【 0 0 7 9 】

図 2 5 は、袋状部 が形成された状態で、シート状材料 10 の左側を中央縦山折り線 $Y V$ に沿って山折りし、裏面 側に折り返すとともに、折り返されたシート状材料 10 の先端部（長さ $L 2 3$ の部分）を第 2 側部山折り線 $Y s 2$ に沿ってさらに山折りした状態を示している。前述したとおり、中央縦山折り線 $Y V$ の位置は、側部折り返し部 と袋状部 が形成された状態で、シート状材料 10 の左右端部間の長さ、すなわち（ $L 2 3 + L 2 4 + L 2 5$ ）を 2 等分した位置よりも第 1 側部山折り線 $Y s 1$ に近い位置、換言すれば、中央縦山折り線 $Y V$ に沿ってシート状材料 10 の袋状部 とは反対側の部分を山折りして反対側に折り返したとき、反対側に折り返されたシート状材料 10 の側端部が袋状部 より 20
側方に飛び出す位置に設定されており、（ $L 2 3 + L 2 4$ ） $>$ $L 2 5$ の関係にあるので、シート状材料 10 の左側（すなわち袋状部 とは反対側の部分）を中央縦山折り線 $Y V$ に沿って山折りすると、山折りされたシート状材料 10 の先端部の少なくとも一部はシート状材料 10 の右端部（すなわち袋状部 ）よりも側方に飛び出すことになる。第 2 側部山折り線 $Y s 2$ は、この飛び出した部分がさらに山折りされる位置に設定されている。本例においては、 $L 2 4 = L 2 5$ とされているので、ちょうど $L 2 3$ の長さに相当する部分がシート状材料 10 の右端部である袋状部 よりも右側に飛び出す部分となり、第 2 側部山折り線 $Y s 2$ に沿ってさらに山折りされ、その山折りされた部分を袋状部 に挿入される。

【 0 0 8 0 】

このとき、挿入状態をより確実なものとするために、挿入する山折りされた先端部の片面若しくは両面、又は、挿入する山折りされた先端部と接触する袋状部 の内面に糊等の適宜の接着剤を塗布し、挿入した状態で両者を接着するようにしても良い。

【 0 0 8 1 】

図 2 6 は、第 2 側部山折り線 $Y s 2$ に沿って山折りした部分を袋状部 内に挿入した状態を示す図であり、本例のブックカバー $B C$ の完成状態を示す正面図である。図 2 6 に示すとおり、ブックカバー $B C$ の一方端部には、カバーする本の表表紙又は裏表紙のいずれかを差し込む第 1 ポケット $P 1$ が形成されている。なお、 $T b$ は、カバーする本の他方の表紙を挟み込むための補助谷折り線であり、 $L 2 7$ は、ブックカバー $B C$ の第 1 ポケット $P 1$ とは反対側の端部、すなわち、中央横山折り線 $Y L$ から補助谷折り線 $T b$ までの長さ 40
を表している。

【 0 0 8 2 】

図 2 7 は、図 2 6 に示すブックカバー $B C$ を用いて、本 B をカバーする様子を示した概略図である。カバーする本 B の向きと合わせるため、ブックカバー $B C$ の向きは図 2 6 に示す位置から反時計方向に 90 度回転させてある。図 2 7 に示すとおり、本 B の右側に位置する表表紙の先端部分は第 1 ポケット $P 1$ 内に差し込まれており、この状態で、ブックカバー $B C$ の第 1 ポケット $P 1$ とは反対側を補助谷折り線 $T b$ に沿って谷折りし、本 B の左側に位置する裏表紙の先端部分を挟み込めば良い。

【 0 0 8 3 】

なお、 $L B 1$ 、 $L B 2$ 、及び $L B 3$ は、それぞれ、本 B の裏表紙、背表紙、及び表表紙 50

の横方向の長さである。L 2 0の長さは、これら三者の長さ(L B 1、L B 2、L B 3)を加算したものに、補助谷折り線T bからブックカバーB Cの第1ポケットP 1とは反対側の端部までの長さ(L 2 7)を加算した長さに相当する長さに選ばれている。なお、上記の説明では、図2 7において、本Bの右側の表紙を表表紙、左側の表紙を裏表紙としたが、逆であっても良いことは勿論である。

【0 0 8 4】

上述したように、本例のブックカバーの作成方法及びブックカバー作成用シート状材料は、ポケットの数が1つである点、蓋谷折り線T C又は蓋山折り線が設定されていない点を除けば、基本的に先に説明したカードケースの作成方法及びカードケース作成用シート状材料と同じである。すなわち、山折り及び谷折りによってポケットを形成する点、側部折り返し部を設ける点、シート状材料の上部を中央横山折り線に沿って山折りし、その先端部を側部折り返し部と係合させて袋状部を形成する点、及びシート状材料の側部を中央縦山折り線に沿って山折りし、その先端部を前記袋状部に差し込む点において、本例のブックカバーの作成方法と先に説明したカードケースの作成方法とは共通しており、基本的に共通する同じ技術思想に基づくものである。

【0 0 8 5】

<ブックカバー - その2 - >

図2 8は、本発明のブックカバー作成用シート状材料1 0の他の一例を示す図であり、図2 8中、(a)は平面図、(b)は右側面図を表している。因みに、図2 8 (a)の平面図は、本発明のブックカバーの一例の展開図でもある。

【0 0 8 6】

図2 8に示すブックカバー作成用シート状材料1 0は、中央横山折り線Y Lよしも下辺B側に、補助谷折り線T bに代えて、第2ポケット頂部山折り線Y p t 2及び第2ポケット底部谷折り線T p b 2が中央横山折り線Y Lに平行に設けられている点を除けば、図1 9に示したシート状材料1 0と同じである。

【0 0 8 7】

L 2 8 ~ L 3 9は、それぞれの部分の長さであり、本例においては、L 2 9とL 3 0、L 3 1とL 3 4、及びL 3 2とL 3 3とが、それぞれ等しい長さとなるように設定されている。なお、第1ポケット底部谷折り線T p b 1から第2ポケット底部谷折り線T p b 2までの長さL 3 1は、カバーする本の表表紙、背表紙、及び裏表紙の各横方向の長さを加算した長さとなるように選ばれている。

【0 0 8 8】

図2 8に示すブックカバー作成用シート状材料を用いてブックカバーを作成する方法は、基本的に先に説明した図1 9に示すブックカバー作成用シート状材料を用いてブックカバーを作成する方法と同じであるが、本例のシート状材料1 0を用いてブックカバーを作成する場合、シート状材料1 0の下部を第1ポケット頂部山折り線Y p t 1及び第1ポケット底部谷折り線T p b 1に沿って山折り及び谷折りして第1ポケットP 1を作成するに加えて、図2 9に示すように、シート状材料1 0の中程を、第2ポケット頂部山折り線Y p t 2に沿って山折りするとともに、第2ポケット底部谷折り線T p b 2に沿って谷折りして、シート状材料1 0の上辺Tと下辺Bとの間に第2ポケットP 2を作成する。図2 9に示すとおり、第1ポケット頂部山折り線Y p t 1と第1ポケット底部谷折り線T p b 1との間の長さL 3 0が第1ポケットp 1の深さになり、第2ポケット頂部山折り線Y p t 2から第2ポケット底部谷折り線T p b 2までの長さL 3 2が第2ポケットP 2の深さになる。

【0 0 8 9】

図3 0は、図2 9に示す状態から、シート状材料1 0の右端部を第1側部山折り線Y s 1に沿って山折りし、側部折り返し部を形成した状態を示している。側部折り返し部がシート状材料1 0の左側端部に形成されても良いことは、先に述べたカードケースやブックカバーにおけると同様である。

【0 0 9 0】

10

20

30

40

50

図31は、図30に示す状態から、シート状材料10の上部を中央横山折り線Y_Lに沿って山折りし、さらに、シート状材料10の下端部から飛び出した部分を頂部山折り線Y_tに沿って山折りして、先に形成されている側部折り返し部と係合させた状態を示している。この状態で、シート状材料10の側部折り返し部が形成されている側の側部には、周囲を側部折り返し部で囲まれた袋状部が形成されている。

【0091】

図32は、ブックカバーBCの正面図であり、図31に示す状態から、シート状材料10の袋状部が形成されているのは反対側を中央縦山折り線Y_Vに沿って山折りし、さらに、シート状材料10の右側部から飛び出した部分を第2側部山折り線Y_{s2}に沿って山折りして、その先端部を袋状部の中に挿入することによってブックカバーBCを完成させた状態を示している。

10

【0092】

図33は、図32に示すブックカバーBCを用いて、本Bをカバーする様子を示した概略図である。カバーする本Bの向きと合わせるため、ブックカバーBCの向きは図32に示す位置から反時計方向に90度回転させてある。図33に示すとおり、本Bの右側に位置する表表紙の先端部分は第1ポケットP₁内に差し込まれており、左側に位置する裏表紙の先端部分は第2ポケットP₂内に差し込まれている。このように、本例のブックカバーBCによれば、本Bの表裏両表紙の先端部分をポケットに差し込むことができるので、ブックカバーBCと本Bとの一体感が増し、本BからブックカバーBCが外れ難いという利点を得られる。また、図33から明らかなどおり、L₃₁の長さは、本Bの裏表紙、背表紙、及び表表紙の横方向の長さであるL_{B1}、L_{B2}、L_{B3}を加算した長さに相当している。

20

【0093】

上述したとおり、本例のブックカバーの作成方法及びブックカバー作成用シート状材料は、ポケットの位置が異なる点、蓋谷折り線TC又は蓋山折り線が設定されていない点を除けば、基本的に先に説明したカードケースの作成方法及びカードケース作成用シート状材料並びにブックカバーの作成方法及びブックカバー作成用シート状材料と同じである。すなわち、本発明のカードケース及びその作成方法と、本発明のブックカバー及びその作成方法とは、山折り及び谷折りによってポケットを形成する点、側部折り返し部を設ける点、シート状材料の上部を中央横山折り線に沿って山折りし、その先端部を側部折り返し部と係合させて袋状部を形成する点、及びシート状材料の側部を中央縦山折り線に沿って山折りし、その先端部を前記袋状部に差し込む点において、相互に共通しており、基本的に特徴的な技術的構成を共通するものである。

30

【産業上の利用可能性】

【0094】

上述したとおり、本発明のカードケース並びにカードケース作成用シート状材料、更にはカードケースの作成方法によれば、身近にあり、誰でもが比較的容易に入手できる紙、布、合成樹脂シートなどの材料を用いて、簡単な操作でカードケースを作成することができ、また、適宜の箇所に適宜の装飾を施すことも容易である。本発明のブックカバー並びにブックカバー作成用シート状材料、更にはブックカバーの作成方法についても同様である。本発明は、日常生活にアクセントを与え、より快適かつ創造性に富んだ毎日を過ごす一助として、優れた産業上の利用可能性を有している。

40

【符号の説明】

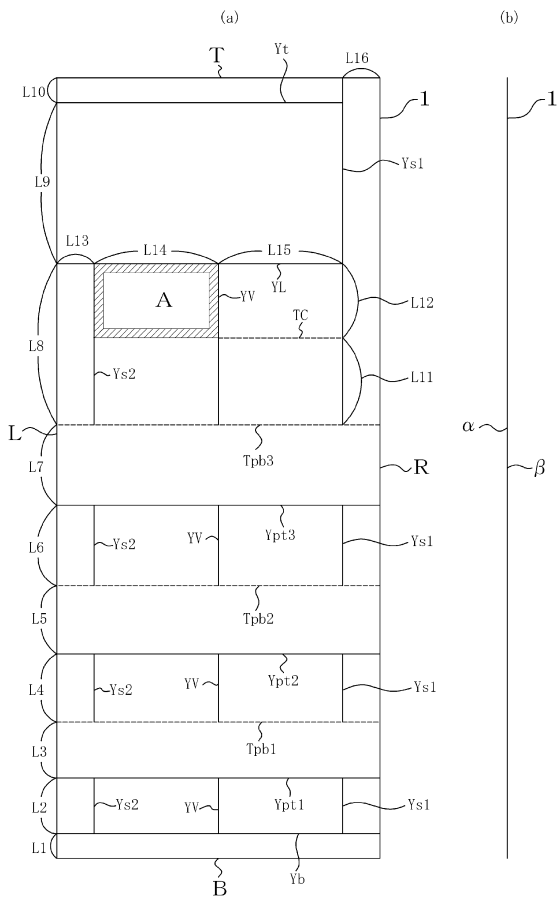
【0095】

1、10	シート状材料
T、B、R、L	シート状材料の上辺、下辺、右辺、左辺
、	シート状材料の表面、裏面
Y _{pt1} ~ 3	第1 ~ 第3ポケット頂部山折り線
T _{pb1} ~ 3	第1 ~ 第3ポケット底部谷折り線
Y _{s1} 、Y _{s2}	第1、第2側部山折り線

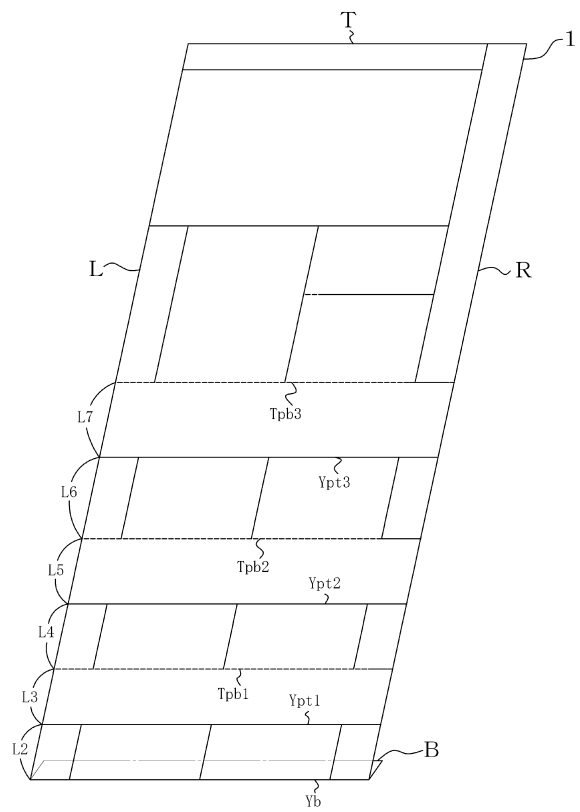
50

- Y L 中央横山折り線
- Y V 中央縦山折り線
- Y m 1、Y m 2 第1、第2マチ部山折り線
- T m 1、T m 2 第1、第2マチ部谷折り線
- 側部折り返し部
- 袋状部
- C C カードケース
- B C ブックカバー
- B 本

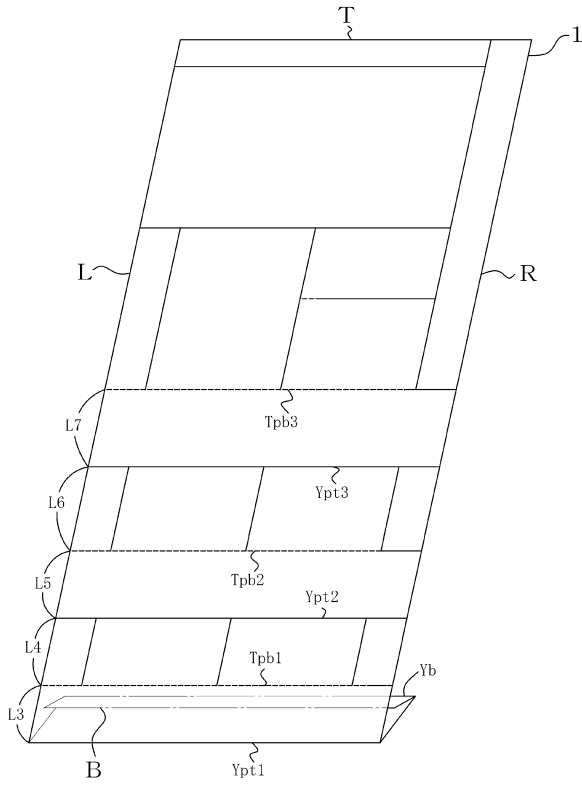
【図1】



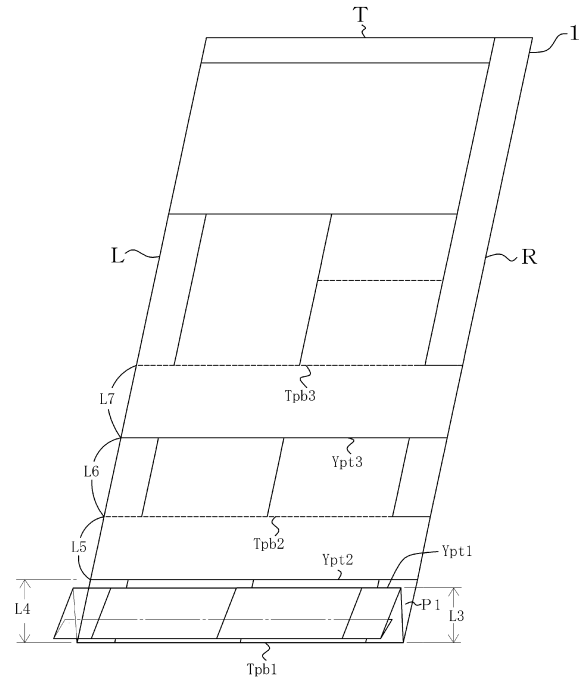
【図2】



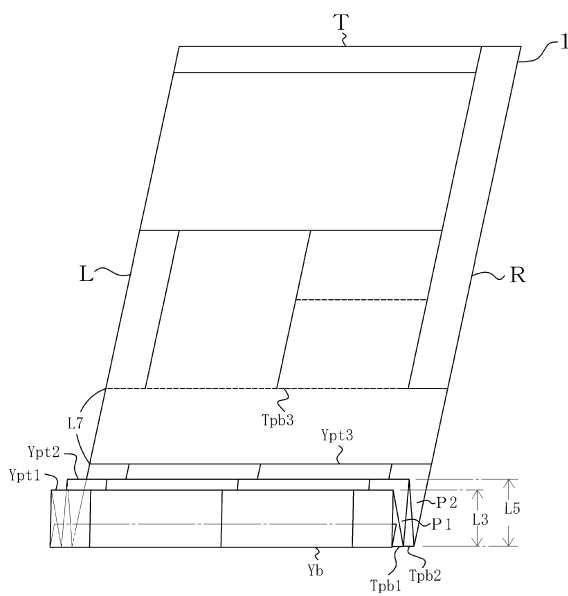
【 図 3 】



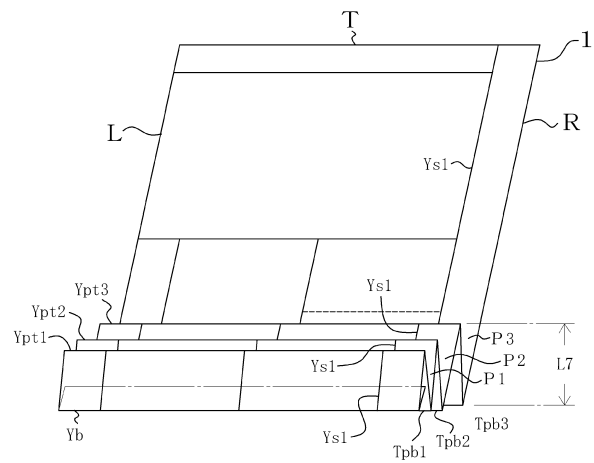
【 図 4 】



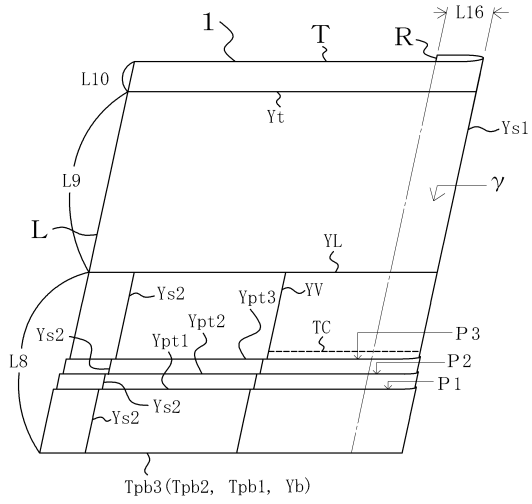
【 図 5 】



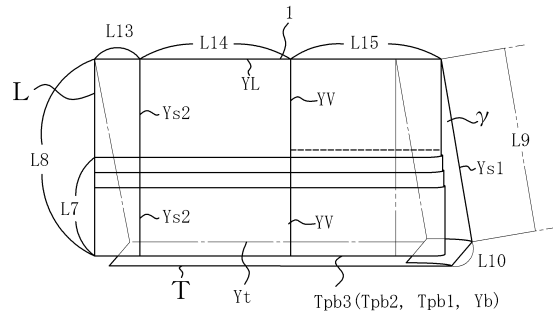
【 図 6 】



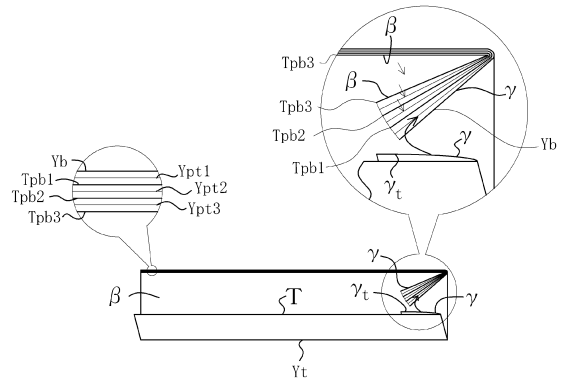
【図7】



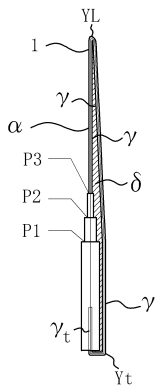
【図8】



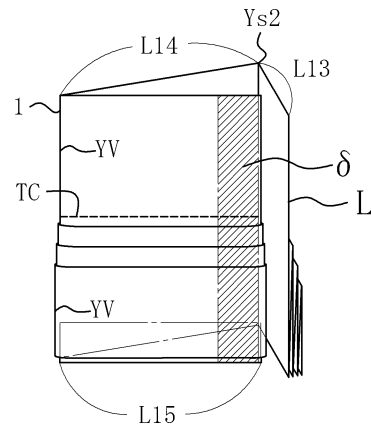
【図9】



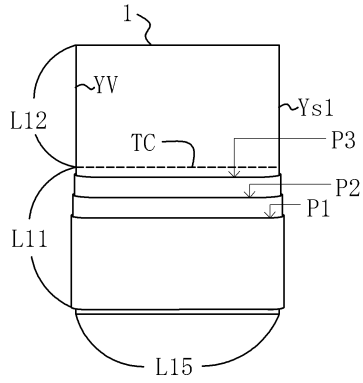
【図10】



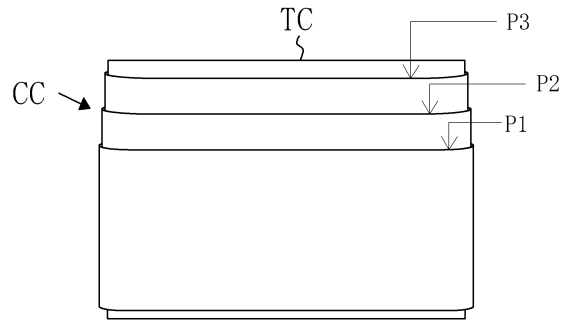
【図11】



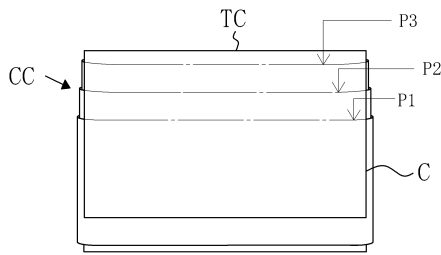
【図12】



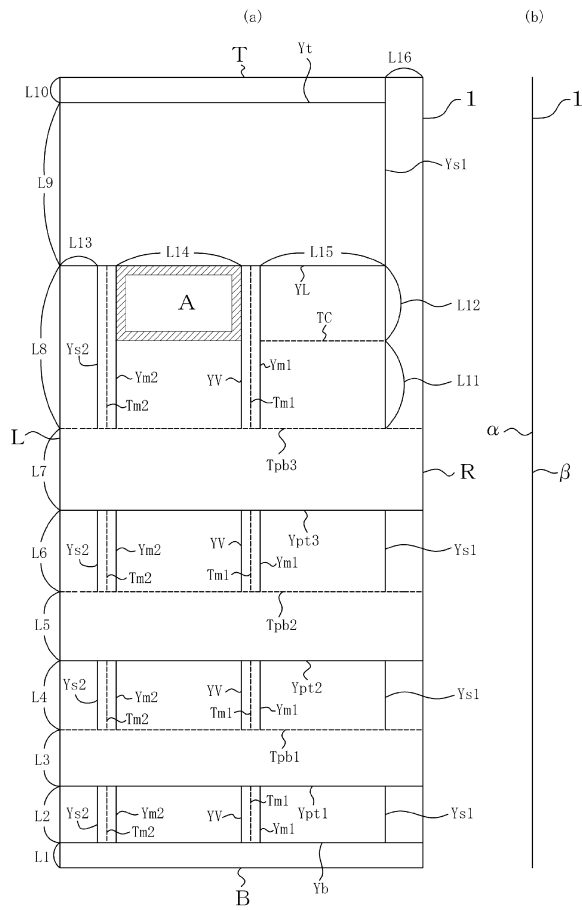
【図14】



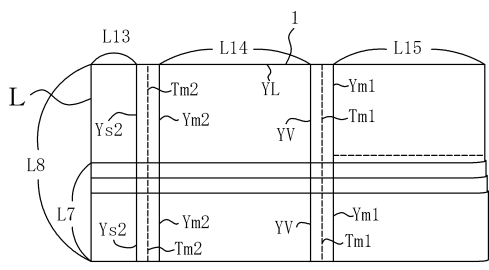
【図13】



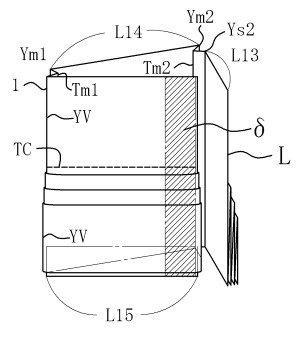
【図15】



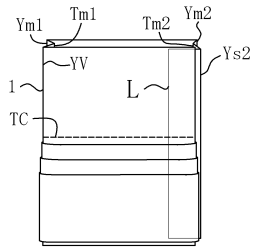
【図16】



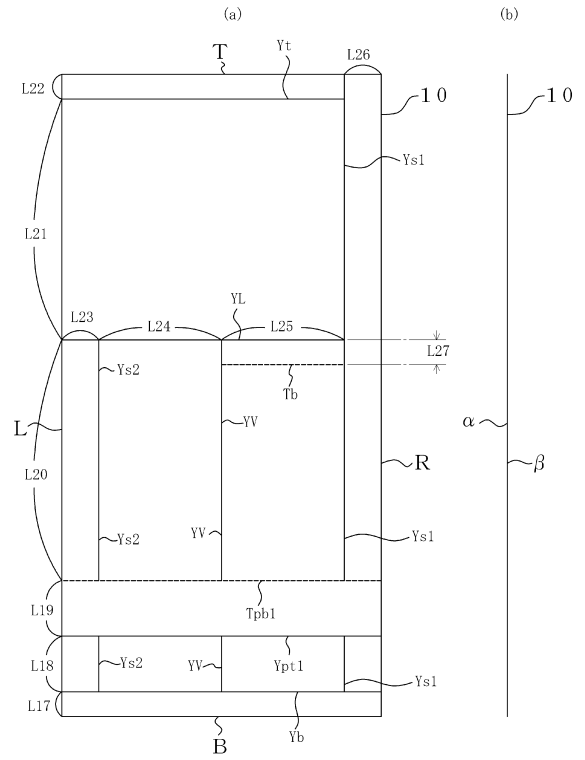
【図17】



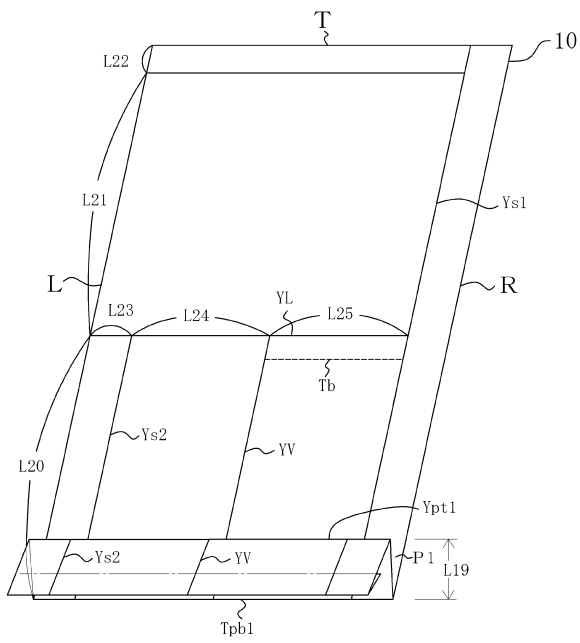
【図18】



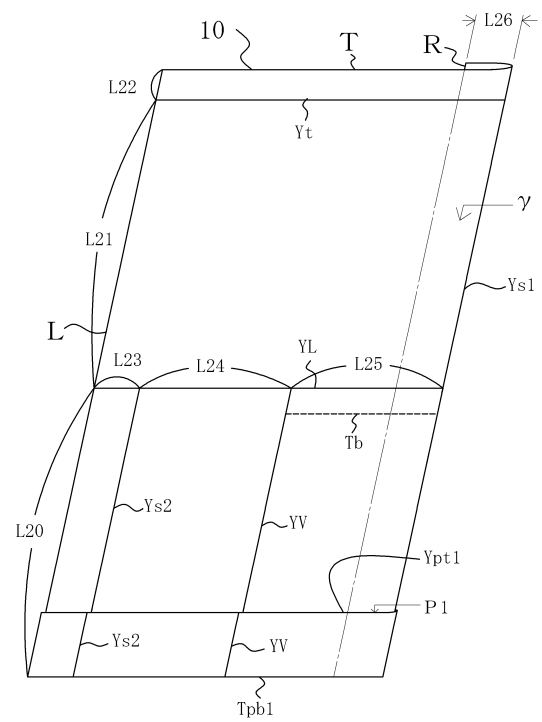
【図19】



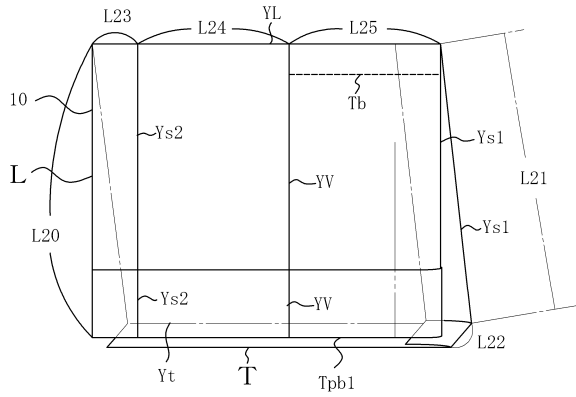
【図20】



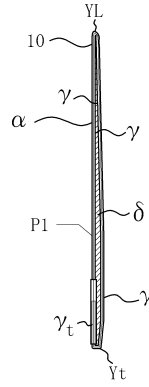
【図21】



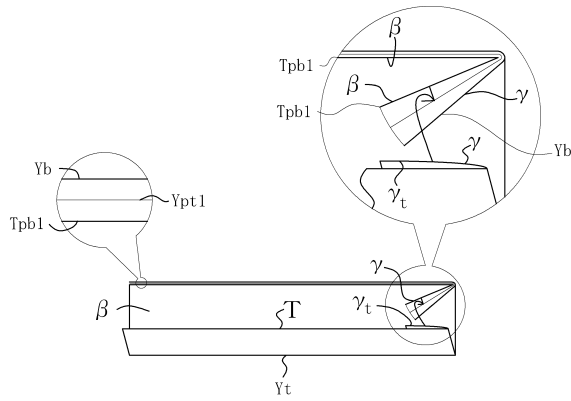
【図 2 2】



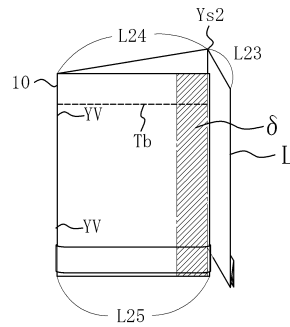
【図 2 4】



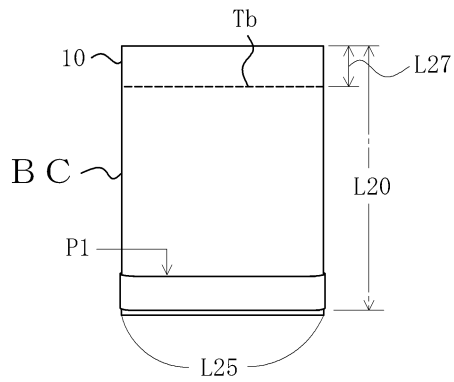
【図 2 3】



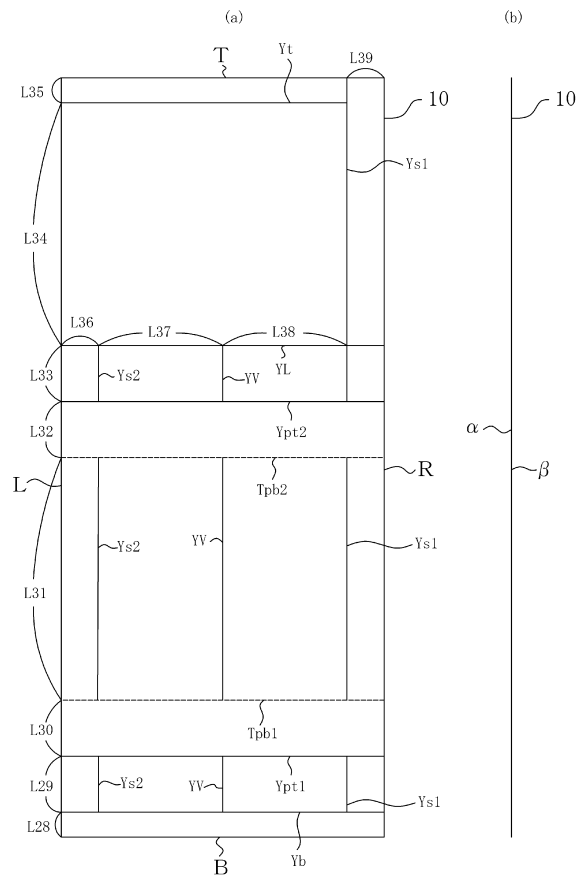
【図 2 5】



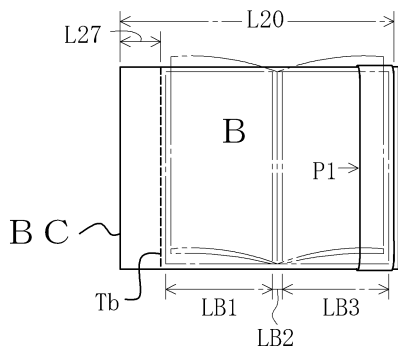
【図 2 6】



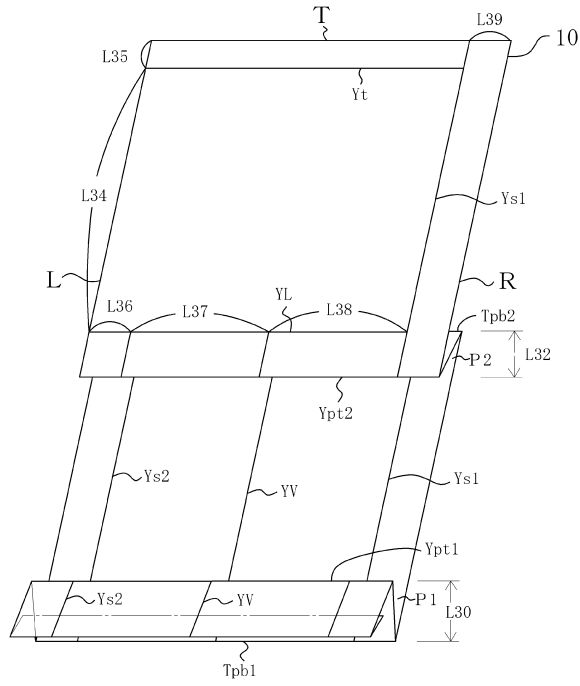
【図 2 8】



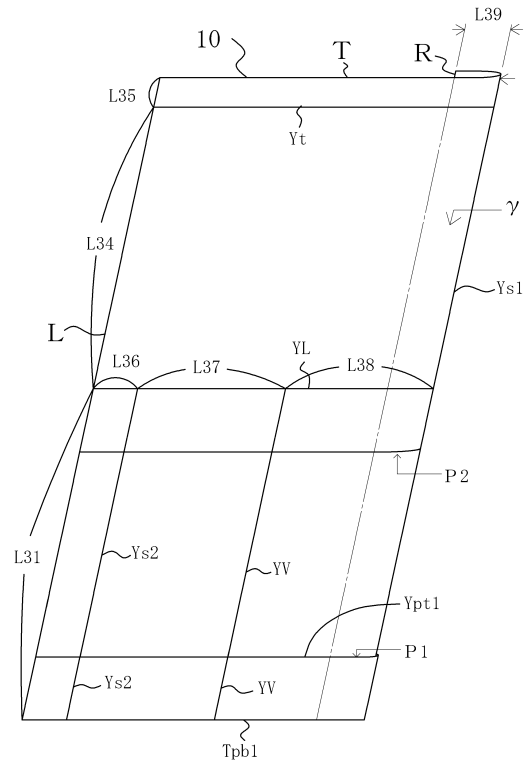
【図 2 7】



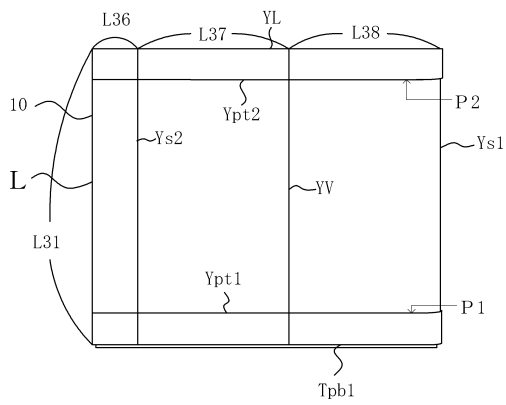
【図 29】



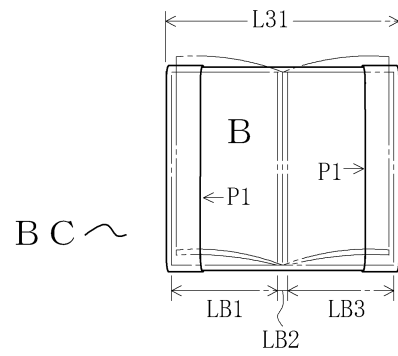
【図 30】



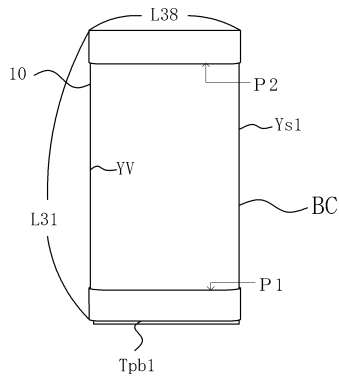
【図 31】



【図 33】



【図 32】



フロントページの続き

- (56)参考文献 特開2002-362078(JP,A)
登録実用新案第3009075(JP,U)
米国特許第05913540(US,A)
特開2011-136533(JP,A)
米国特許第05769477(US,A)
登録実用新案第3193977(JP,U)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

B42F	7/00	-	7/08
B42D	3/18		
A45C	1/00	-	15/08